

# 環境経営レポート2025

## seibu service group



西部サービス株式会社 有限会社アルファフォルム



One step

対象期間：2024年4月～2025年3月

発行日：2025年8月20日

西部サービス株式会社と有限会社アルファフォルムは、阪和興業株式会社を親会社とする姉妹会社です。両法人の本社機能は西部サービスが有しております、エコアクション21の取り組みについても同じ組織運営の中で行っています。そのため、「環境経営レポート」は、西部サービスグループとして、統一したものを作成しています。

西部サービスグループは神戸市と大阪市を中心に産業廃棄物の中間処理を手掛け、リサイクル燃料製造事業を通じて、地球環境とエネルギー産業に貢献し、持続可能な社会構築への一翼を担います。またエコアクション21への取り組みを行うことにより、SDGsの達成に貢献します。



ひょうご SDGs

西部サービスは「ひょうご産業SDGs推進宣言企業」の登録を受けています。



アルファフォルムは大阪府の「私のSDGsプロジェクト」に宣言をしています。

# One Step



2050年カーボンニュートラル、そして持続可能社会の構築を目指して、西部サービスグループはCO<sub>2</sub>の見える化(Scope1~3)、「TEAM リズム(Re:ism)」への参画、火災監視SAVEシステムの事業展開などの取組を行ってまいりました。

2024年度は、「One step」を念頭に、さらに一步前へ進めるために何ができるかを考え、自社製造のリサイクル燃料に対し「カーボンフットプリント」の算定を行い、「B5」(※バイオディーゼル5%)のテスト導入、「TEAM リズム(Re:ism)」では、親会社である阪和興業とともに海洋プラスチックごみの排出削減を目指し、使用済み真珠養殖かごの資源再生手法を確立にまで至りました。「One step」は最初は小さな一步ですが、それを続けていくことでカーボンニュートラル、持続可能性社会の構築が実現できると信じています。2025年度の環境経営レポートはそのような思いを込めて制作を致しました。



カーボンフットプリント



バイオディーゼル



TEAM リズム(Re:ism)

# CONTENTS

代表者からの挨拶	6P
企業理念、基本理念、環境経営方針	7P
組織の概要	8P
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	9P
収集運搬業許可の内容、処分業許可の内容	10P
当社活動とSDGsの関わり一覧表	11P
西部サービスグループの事業内容、処理フロー	12P
アボイディッドエミッションの取り組み	14P
バイオディーゼル燃料の導入	15P
カーボンフットプリントの取り組み	16P
サプライチェーン排出量(Scope3)	18P
漁網のリサイクルループ 更なる進化へ	20P
主な環境負荷の実績	22P
電力による二酸化炭素排出量の削減	24P
燃料による二酸化炭素排出量の削減	26P
一般廃棄物の削減	30P
水使用量の削減	32P
リサイクル燃料の増産	34P
受託廃棄物のリサイクル率向上	36P
環境目標と実績	38P
太陽光発電への取組	39P
マテリアルバランス	40P
ワークライフバランスの取組	41P
CSRアクティビティ	42P
火災監視SAVEシステムの技術提供	43P
安全への取組	44P
熱中症と安全対策の取組	46P
受賞歴・環境法令の遵守状況	47P
西部サービスグループ環境活動の歩み	48P
課題とチャンス、代表者による評価と見直し	49P





## 代表からの挨拶

greeting from the president

日頃より、お得意様各位、関係当局をはじめとした業界関係者の皆様方には西部サービスグループをご支援賜りまして、厚く御礼申し上げます。

当社グループは1988年に設立、2015年12月に阪和興業(株)にグループ入りし、近畿2府4県を中心 に産業廃棄物の収集運搬・中間処理事業を展開しております。中間処理施設を大阪市・神戸市に保有し、時代の流れと共に処理フローを変化させながら環境保全に繋がる事業に取組み、ノウハウを蓄積してまいりました。

昨今は社会構造の大きな変化に伴い、国内外・業界・業種を問わず様々な問題が山積しており、今後はとりわけ生産性の向上と次世代を担う人材の育成は大きな課題になると思われます。当社も様々な課題の克服に向け、環境関連事業者としての自覚を持ちこれまでに培ってきたノウハウを最大限に活用し、ステークホルダーの皆様方とコミュニケーションを図り、処理生産技術の向上に努め持続可能な資源循環型社会の推進に一翼を担うべく事業展開を継続してまいります。

【安心】【安全】【健全】なりサイクル活動を通して次世代・未来に繋がる社会貢献をお約束致します。



代表取締役  
片境 邦喜



取締役兼本部長  
伊地知 宏徳

脱炭素社会の実現に向けた取り組みが一層求められる中、弊社では昨年に続き、RPFおよびフラフ燃料の製造量を着実に伸ばすとともに、事業全体の環境負荷を定量的に把握するためカーボンフットプリントの算定を開始いたしました。これにより、弊社のリサイクル事業がどれだけ温室効果ガス削減に貢献しているかをより明確に示すことが可能となりました。また、輸送・エネルギー分野でのCO<sub>2</sub>削減を進めるため、B5燃料の導入を進め、化石燃料依存の低減を実行に移しております。加えて、再生材の利活用を推進するプラットフォームであるRe:ism(リズム)への参画を通じ、より高度な資源循環の実現に向けた連携と情報発信も強化しております。廃プラスチックの減少や市場環境の変化により、企業としてさらなる工夫と知恵が求められていることを強く感じる一年でもありました。一方で、気候変動による自然災害の増加が懸念される中、持続可能な事業運営を実現するため、BCPの強化や従業員教育の充実にも引き続き力を入れてまいります。

## 企業理念

- ・顧客のニーズに応えて、安心、安全、健全なリサイクル事業を推進します。
- ・再資源化事業を通して、環境問題に取り組み、地域に貢献する企業を目指します。
- ・事業の発展に努め、会社の繁栄と社員の幸福を実現します。

## 経営理念

西部サービス株式会社は、大阪市及び神戸市それぞれにリサイクル工を立地し、産業廃棄物処理事業及び産業廃棄物のリサイクル活動を通じて社会に貢献し、全従業員の幸福と生活文化の向上を目指すと共に、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適用並びに、生物多様性及び生態系の保護を推進します。

## 環境経営方針

1. 環境マネジメントシステムを構築し、環境パフォーマンスを向上させる為、継続的改善を図る事により、積極的に環境保全活動を推進します。
2. 環境関連の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 当社の事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染予防及び環境保護を推進すると共に、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。その中で次の項目を環境管理の重点テーマとします。
  - ①産業廃棄物の受託量増加及び売上増加に取り組みます。
  - ②受託した産業廃棄物に対し積極的にリサイクル率を向上させます。
  - ③一般車輌・収集運搬車輌及び工場内重機の燃料の有効利用により使用量を削減します。
  - ④照明、各種設備機器などに使用する電力の削減及び、効率的な使用に努めます。
  - ⑤RPF・フラフ燃料(石炭などの代替燃料)の製造に取り組みます。
  - ⑥事業系一般廃棄物の削減に努めます。
  - ⑦水使用量の削減及び、効率的な使用に努めます。
  - ⑧自らが生産、販売、提供する製品及びサービスに関し、環境負荷低減に努めます。
4. 環境目的、目標を定めた上でそれを推進、見直す事により環境マネジメントシステムの発展を図ります。
5. 従業員が基本的な考え方を認識し、環境経営方針に基づく行動が出来る様に従業員教育を行います。
6. 環境経営の継続的改善に取り組みます。
7. 尚、環境経営方針は一般の人々に公表します。

西部サービス株式会社  
代表取締役 片境 邦喜

有限会社アルファフォルム  
代表取締役 江波戸 秀彦



# 組織の概要

Organization overview



## 西部サービス株式会社

代表者名 代表取締役 片境 邦喜
所在地 本社・大阪工場 大阪府大阪市淀川区田川北三丁目4番46号 ※EA21対象
神戸工場 兵庫県神戸市東灘区住吉浜町17番 ※EA21対象



## 有限会社アルファフォルム

代表者名 代表取締役 江波戸 秀彦
所在地 本社(登記のみ) 大阪府大阪市淀川区田川北三丁目4番46号 ※EA21非対象
南港工場 大阪府大阪市住之江区南港南一丁目1番175号 ※EA21対象

### 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 管理部総務課 日吉 弘幸  
環境事務局 管理部総務課

### 事業内容

産業廃棄物の中間処理業及び収集運搬業とRPF、フラフ燃料の製造及び販売

### 事業の規模

法人設立	1988年11月	
資本金	2000万円	
売上高	16.7億円	
事業所名	本社・大阪工場	神戸工場
従業員	16 名	36 名
延べ床面積	760 m <sup>2</sup>	4950 m <sup>2</sup>

### 受託した産業廃棄物の処理量

	西部サービス株式会社		
	2022年度	2023年度	2024年度
収集運搬受託量	27,819 t	24,638 t	27,995 t
廃棄物受託量	31,324 t	30,538 t	34,088 t
①RPF製造量	4,781 t	2,232 t	1,219 t
②フラフ燃料製造量	19,845 t	23,433 t	27,089 t
③有価物搬出量	1,005 t	883 t	752 t
④マテリアル搬出量	489 t	382 t	375 t
⑤外部排出量 ※1	4,812 t	2,321 t	3,925 t
リサイクル率 ※2	84.2 %	92.1 %	88.2 %
外部排出の内、最終処分した量	545 t	352 t	361 t

※1 外部排出量とは①～④以外の処分量

※2 自社基準として、①～④のみをリサイクル率としてカウント。

$$\text{リサイクル率} = (\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④}) / (\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④} + \text{⑤})$$

焼却(サーマルリサイクル)などは除外。

### 重機一覧

神戸工場	
車種	台数
バックフォー	6 台
フォークリフト	5 台
ホイルローダー	1 台
スイマー	1 台
合計	13 台

大阪工場	
車種	台数
バックフォー	1 台
フォークリフト	2 台
合計	3 台

### 車輌一覧

車種	台数
4tコンテナ車	4 台
5tコンテナ車	3 台
10tコンテナ車	2 台
5t塵芥車	7 台
キャブオーバー	4 台
社用車	8 台
合計	28 台

### 主要設備

名称	台数
2軸破碎機	2 基
選別機	3 基
磁選機	3 基
1軸破碎機	2 基
成形機	1 基
圧縮梱包機	1 基

### 設備許可能力

処理能力(最大値)	
①選別・破碎施設	273.16t/日(汚泥)
②破碎施設	66.40t/日(汚泥)
③選別施設	390.72t/日(がれき類)
④光学選別施設	650.88t/日(金属くず)
⑤破碎施設	138.52t/日(汚泥)
⑥破碎・減容固化施設	66.40t/日(汚泥)
⑦圧縮梱包施設	79.06t/日(繊維くず)

### 積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	積上高さ
大阪工場	187 m <sup>2</sup>	501 m <sup>3</sup>	4 m
神戸工場	62.4 m <sup>2</sup>	116.4 m <sup>3</sup>	5 m

### 事業内容

産業廃棄物の中間処理業とRPFの製造及び販売

### 事業の規模

法人設立	2000年12月	
資本金	300万円	
売上高	10.3億円	
事業所名	南港工場	
従業員	21 名	
延べ床面積	4200 m <sup>2</sup>	

### 受託した産業廃棄物の処理量

	有限会社アルファフォルム		
	2022年度	2023年度	2024年度
収集運搬受託量			
廃棄物受託量	32,310 t	31,968 t	33,417 t
①RPF製造量	25,593 t	24,471 t	27,699 t
②フラフ燃料製造量			
③有価物搬出量	665 t	627 t	619 t
④マテリアル搬出量	164 t	184 t	161 t
⑤外部排出量 ※1	5,587 t	6,040 t	6,327 t
リサイクル率 ※2	83.0 %	80.7 %	81.8 %
外部排出の内、最終処分した量	0 t	0 t	0 t

※1 外部排出量とは①～④以外の処分量

※2 自社基準として、①～④のみをリサイクル率としてカウント。

$$\text{リサイクル率} = (\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④}) / (\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④} + \text{⑤})$$

焼却(サーマルリサイクル)などは除外。

### 重機一覧

南港工場	
車種	台数
バックフォー	4 台
フォークリフト	3 台
ホイルローダー	1 台
スイマー	1 台
合計	9 台

### 主要設備

名称	台数
2軸破碎機	1 基
選別機	3 基
磁選機	2 基
1軸破碎機	2 基
成形機	2 基

### 設備許可能力

処理能力	
①減容固化施設	175t/日
②破碎・切断施設	575m <sup>3</sup> /日
③選別施設	960m <sup>3</sup> /日

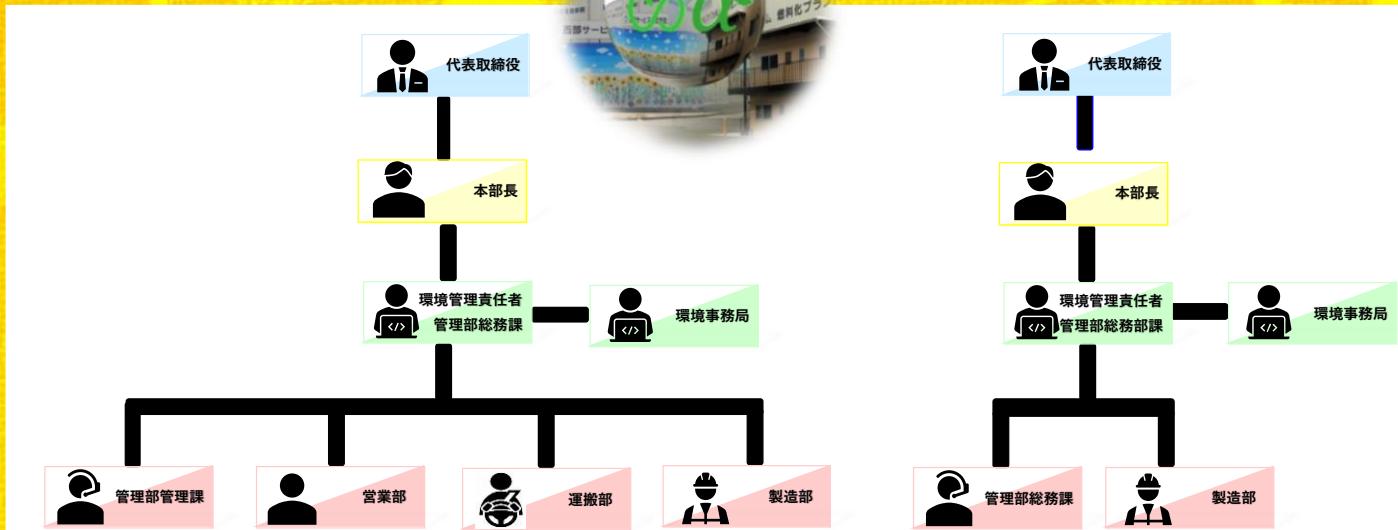


# 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

## SEIBU SERVICE GROUP

### 西部サービス株式会社

### 有限会社アルファフォルム



役割・責任・権限	
代表者取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を最終承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの最終承認</li> </ul>
本部長、取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表取締役の補佐</li> <li>・全部署の取りまとめ</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を一次承認</li> <li>・環境経営レポートの一次承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>



## 収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類												
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック類	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス陶磁器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず
大阪府 ★	2700018706	令和5年11月22日	令和12年11月21日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
大阪市 ★	6610018706	令和1年9月17日	令和8年7月26日	有	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
兵庫県 ★	2803018706	令和6年2月20日	令和13年2月19日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
神戸市 ★	6910018706	令和5年4月15日	令和12年4月14日	有	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
京都府 ★	2600018706	令和2年7月10日	令和9年6月20日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
奈良県 ★	2900018706	令和2年8月10日	令和9年8月9日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
和歌山県 ★	3000018706	令和6年9月29日	令和13年9月28日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
滋賀県 ★	2501018706	令和2年4月17日	令和9年3月29日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
三重県 ★	2400018706	令和2年3月30日	令和9年2月15日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
鳥取県 ★	3101018706	令和6年12月10日	令和13年12月9日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
東京都 ★	1300018706	令和4年11月10日	令和11年11月9日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
千葉県 ★	1200018706	令和5年1月10日	令和12年1月9日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●



## 処分業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲		廃棄物の種類										
				中間処理	廃プラスチック類	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず	汚泥※1	動植物性残渣※2	ゴムくず		
神戸市 ★ ※西部サービス(株) 神戸工場	6920018706	令和5年4月15日	令和12年4月14日	選別・破碎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
				破碎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				選別	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				光学選別	●	●	●	●	●				●			●
				破碎・減容固化	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●
				圧縮梱包	●	●	●	●								
大阪市 ★ ※(有)アルファファ ルム 南港工場	6620162645	令和3年12月7日	令和10年12月6日	減容固化	●	●	●	●	●				●	●	●	●
				破碎・切断	●	●	●	●	●	●	●	●				●
				選別	●	●	●	●	●	●	●	●				●

★ 優良許可認定

※1 製紙スラッジに限る ※2 医薬品カプセルに限る



# 当社活動とSDGsの関わり



新たな取組

取組事項	環境目標							CSRアクティビティ												
	二電力化による 炭素の削減	二燃料による 炭素の削減	一般廃棄物の削減	リ受託廃棄物率の向上	水使用量の削減	二酸化ガスによる 炭素の削減	リサイクル燃料の増産	マテリアルバランス	パワーランスハイフの取組	太陽光発電への取組	社会貢献活動	安全への取組	火災監視技術提供	漁網リサイクル	アボイツディヨンドの取組	カーボンフットプリントの取組	サプライチェーン	バイオ燃料導入	バイオディーゼル	熱中症対策の取組
3 すべての人に 健康な生活を																				
4 賢い教育を みんなに																				
5 ジンジャーを みんなに																				
6 安全な水とトイレ を世界中に																				
7 すべての人に エネルギーを																				
8 繊維からも 資源をも																				
9 安全な水とトイレ を世界中に																				
11 日本財團がもつ まちづくり																				
12 小さな事に つなげよう																				
13 環境問題に 取り組む																				
14 海の豊かさを 守ろう																				
15 健康な生き方 を																				
16 あなたに正直 すべての人々に																				
17 パートナーシップ で目標達成しよう																				





## 西部サービスグループの事業内容

企業から排出される産業廃棄物を荷受けし、その中に含まれる廃プラスチック類、紙くず等の可燃物を原料としてRPF(固体燃料)やフラフ燃料と呼ばれるリサイクル燃料を製造する会社です。

この2つの燃料は、石炭のような化石燃料の代替燃料として使用されており、大きな特徴はCO<sub>2</sub>の排出が抑制されるという点です。

CO<sub>2</sub>排出の係数が低く、石炭を燃やすのと比べ32.6%削減できます。



石炭 : 2.33t -CO<sub>2</sub>  
RPF／フラフ燃料 : 1.57 t -CO<sub>2</sub>



RPF



フラフ燃料

差引 : ▲0.76 t -CO<sub>2</sub> (▲32.6%)

大手製紙会社、鉄鋼会社、セメント会社など幅広い産業で利用されています。また世界的にCO<sub>2</sub>削減が至上命題となってくる中、カーボンニュートラルに貢献するリサイクル燃料として注目を集めています。

### RPFとフラフ燃料の特徴・メリットと環境効果

#### ①品質の安定

選ばれた廃棄物から作られるため、一貫して品質が高く安定しており、一年を通して同じレベルの性能を期待できます。

#### ②熱量のコントロールが可能

必要な熱量に応じて配合比率を変更することができます。

#### ③高カロリー

廃プラスチック類を多く使用しているため熱量が高くなっています。

#### ④ハンドリング性が良い

貯蔵特性及び輸送効率にも優れています。

#### ⑤ボイラー等燃焼炉における排ガス対策が容易

塩素ガス発生によるボイラーの腐食やダイオキシンの発生がほとんどありません。

#### ⑥他燃料と比較して経済性がある

価格が石炭の1/4ほどで低価格な再生可能エネルギーです。

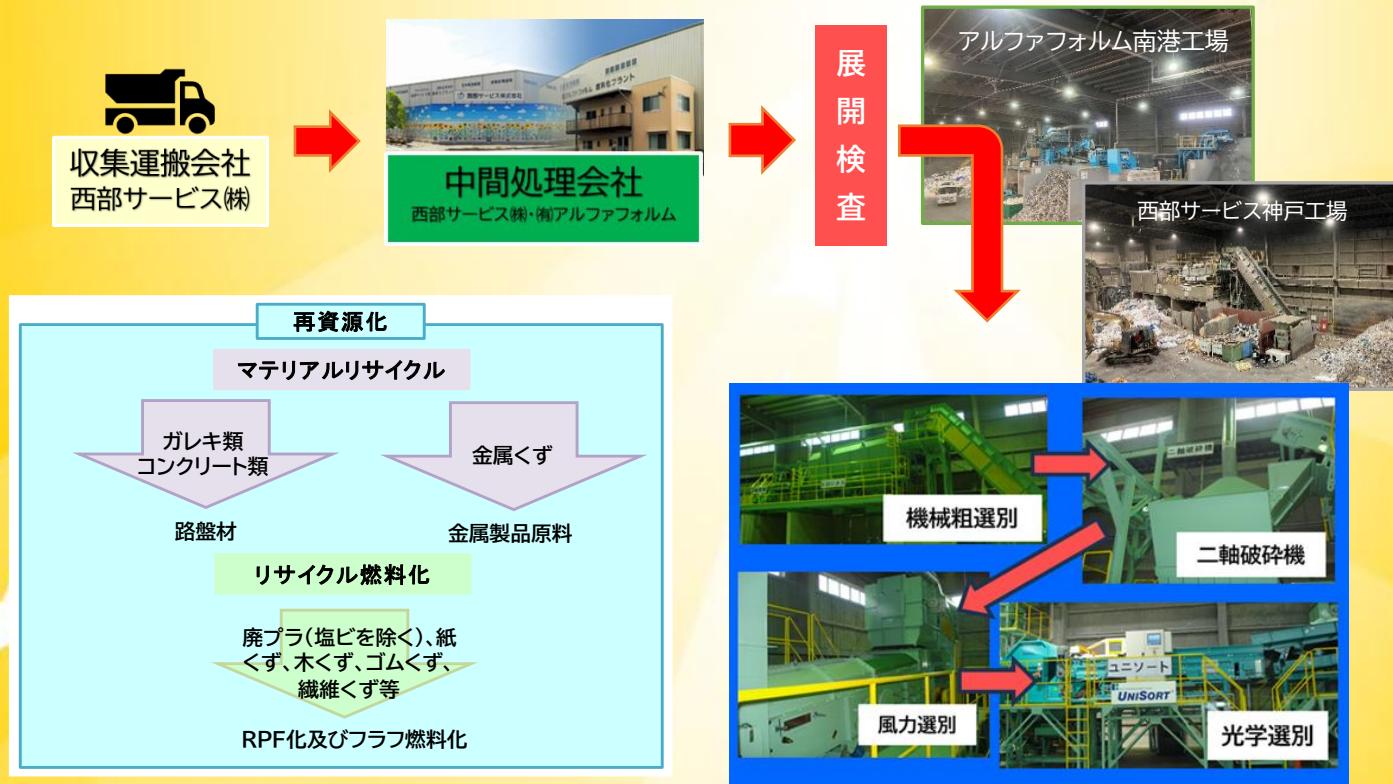
#### ⑦環境に優しい

CO<sub>2</sub>削減効果があり、灰の発生を抑制できます。

# ～ 西部サービスグループの処理フロー ～

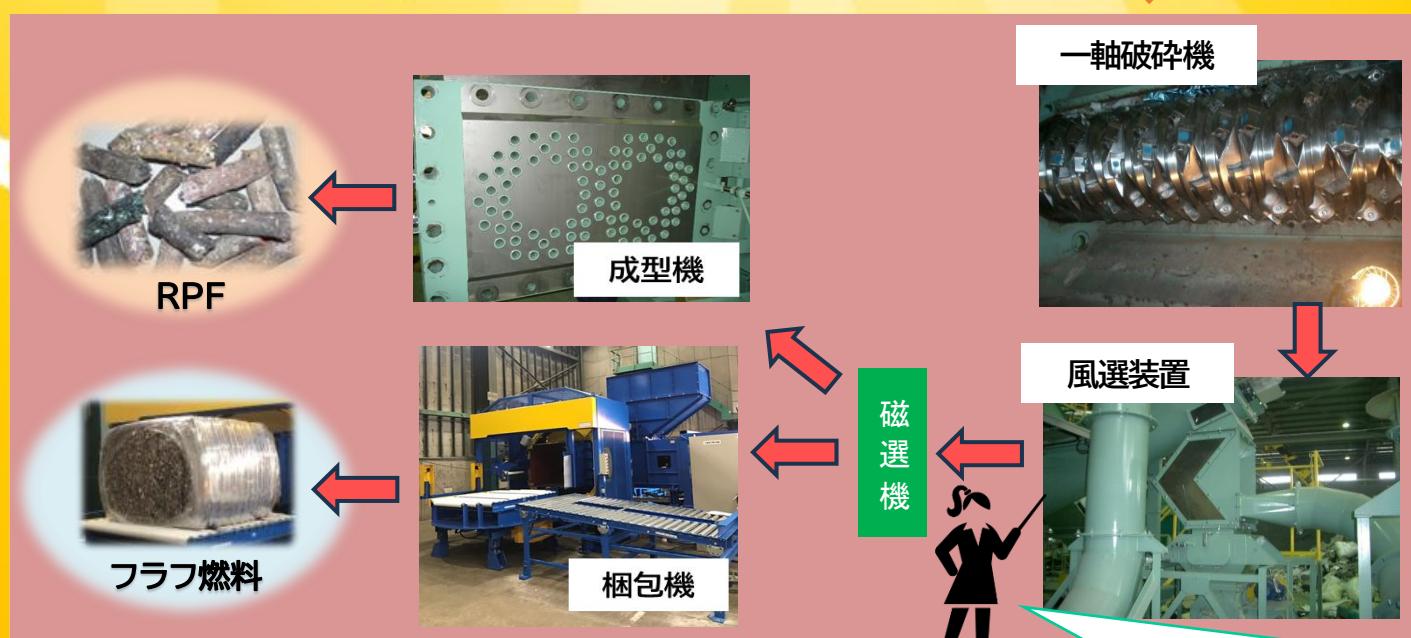
## 混合廃棄物処理フロー

高性能な機械選別を中心に手選別を加えることにより、混合廃棄物から効率よくリサイクル燃料化できるものを回収し、さらにマテリアルリサイクルできるものも同時に回収します。リサイクルできないものは安定型埋立場や管理型埋立場で処分されますが、その量は全体量の2%未満に抑えています。



## RPF・フラフ燃料化処理フロー

混合廃棄物から回収された原料と、排出事業者があらかじめリサイクル燃料向けに選別された良品原料を配合し、ユーザーの希望に合わせた各種品質の RPF とフラフ燃料を製造しています。



西部サービスの RPF とフラフ燃料は、原料基準を満たした廃プラスチック類を一軸破碎機で細かく破碎するだけでなく、2回目の風力選別機を通して燃料に不向きな異物を完全に取り除き、高品質のリサイクル燃料の生産を実現しています。



# Avoided Emissions の取り組み



## 西部サービスグループ

### *Avoided Emissions* CO<sub>2</sub>削減貢献量

西部サービスグループでは毎月のCO<sub>2</sub>削減貢献量をHP上で公開しております。

リサイクル燃料の製造量と太陽光の発電量に対して、石炭火力でのCO<sub>2</sub>排出量と比較してその削減量を表しております。

2024年はお客様のおかげで毎月3,000t-CO<sub>2</sub>超の排出量を削減できておりました。

削減量を杉の木の吸収量で表し、杉の木の植樹面積がどれくらいの広さになるかを甲子園球場で表しています。

ぜひ一度、HPをご確認ください！

2024年度  
43,000t-CO<sub>2</sub>の  
削減貢献量を達成!!

甲子園球場  
1,140個分の  
杉の木の植樹面積!!!



ありがとうございました。

#### CO<sub>2</sub>削減貢献量(2025年4月度)



4,302 t-CO<sub>2</sub>

お客様のおかげで削減に貢献できた今月のCO<sub>2</sub>排出量



「杉の木」が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>量で計算すると

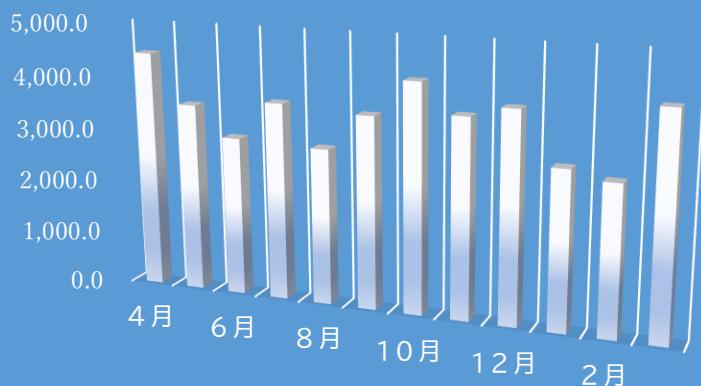
207,285本分

削減効果

「杉の木」の植樹面積に置き換えると  
甲子園球場 = 114個分  
のCO<sub>2</sub>削減効果

関西のランドマーク  
「阪神甲子園球場」  
で削減貢献量を表  
しています！

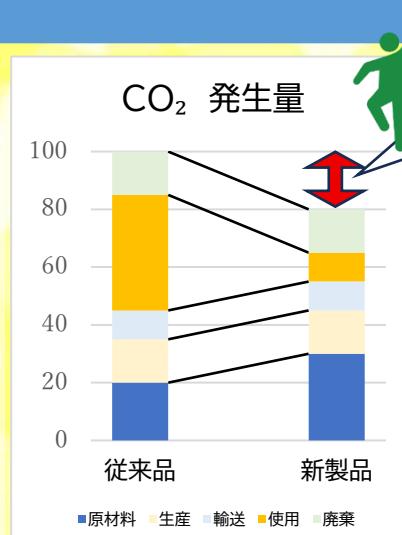
#### 2024年度 CO<sub>2</sub>削減貢献量



#### Avoided Emissionsって？

「2050年カーボンニュートラル」を達成するためには自社の排出を削減することはもちろん、他社の排出削減にも貢献するイノベーションを促すことが重要です。企業の排出削減を考えるあたり話題となっている最新のテーマが「削減貢献量(アボイディッド・エミッション)」です。

「企業が社会の排出削減に役立つモノをつくった場合、その“貢献”は評価されるべきではないか」という見解をもとに、企業が製品・サービスを通じて社会全体の温室効果ガス削減に貢献した度合いを定量化して評価する考え方です。



新製品の方が従来品より原材料のCO<sub>2</sub>排出量は10増えたけど、使用中排出量は30下げる事ができたので、実質CO<sub>2</sub>削減量で貢献できた！

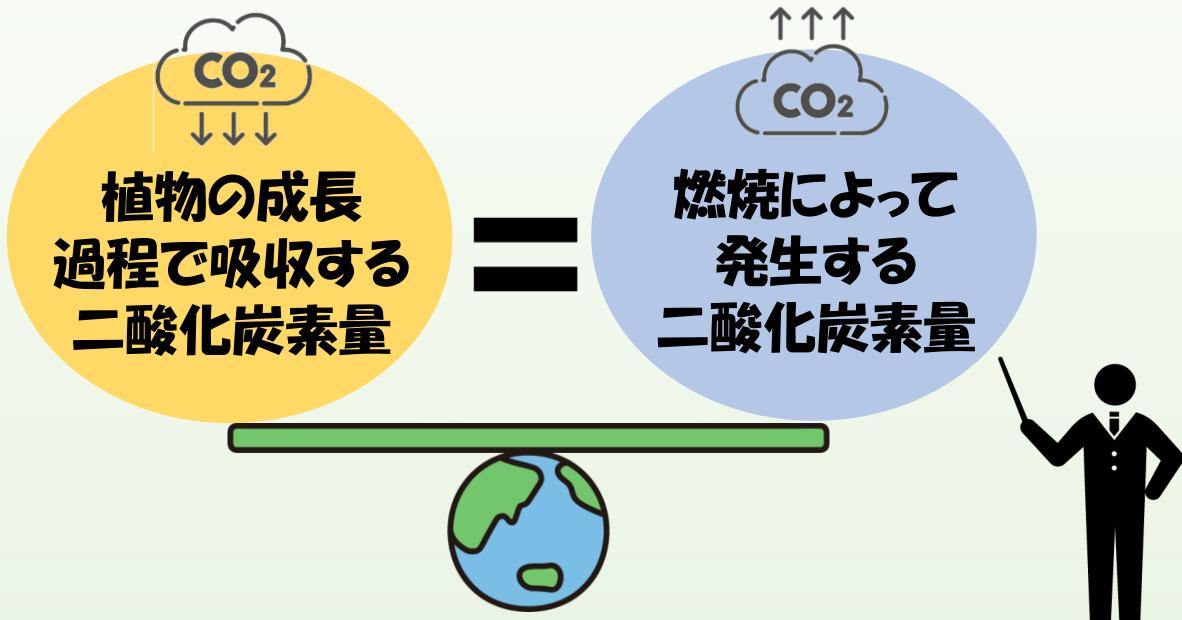
企業はCO<sub>2</sub>削減に貢献できる製品・サービスに変える事によって企業の「GHG排出量」を削減することが可能です。またCO<sub>2</sub>削減につながる製品・サービスを開発・普及させた企業にとって「削減貢献量」として数値化することにより評価に繋がります。この指標は企業の省エネ製品開発やイノベーションをますます促進することが期待されています。



# バイオディーゼル燃料の導入



バイオディーゼルとは植物油からなる廃食用油を原料に化学反応で精製したディーゼルエンジン用の燃料です。地球上の二酸化炭素を吸って育った植物を原料としている為、理論上、バイオディーゼルを燃焼して排出される二酸化炭素排出量はゼロとカウントされます。



差し引きして二酸化炭素排出量はゼロカウント!!  
(京都議定書上)

**CARBON NEUTRAL**

西部サービスグループ

バイオディーゼル燃料を導入!!



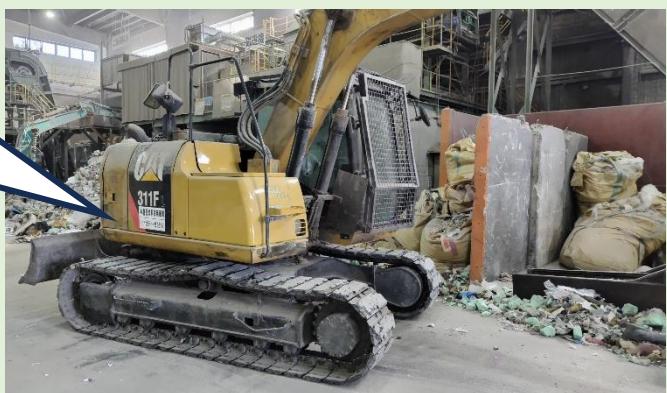
2024年度に西部サービス神戸工場で、バイオディーゼルである B5軽油を一台の重機に試験導入しました。

B5軽油とはバイオディーゼル燃料を5%混合した軽油の事で、従来の市販車両でも無改造で使用する事が可能です。

バイオディーゼル燃料に代替する事によって地球温暖化を防ぐ一助にもなります!!



カーボンニュートラルを目指すには CO<sub>2</sub>を抑制できるバイオディーゼル燃料の存在がとても大切!!





## カーボンフットプリントの取り組み

カーボンフットプリント(CFP:Carbon Footprint of Products)とは、製品やサービスのライフサイクルを通して排出される温室効果ガス(Greenhouse gas:GHG)排出量を、CO<sub>2</sub>排出量に換算した数値を指します。西部サービスグループでは自社で製造をしているリサイクル燃料(フラフ燃料、RPF)について、CFPの算定に取り組むことにより、将来的な排出量削減の方針の検討及び、需要家に対して、Scope3算定における1次データとして提供し、社会全体のCO<sub>2</sub>削減に貢献することを目的としています。

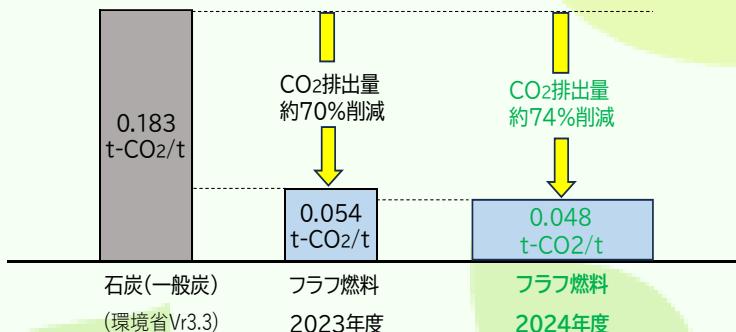
### 神戸工場



CFP算定報告書

### フラフ燃料のカーボンフットプリント

**0.048t-CO<sub>2</sub>/t**



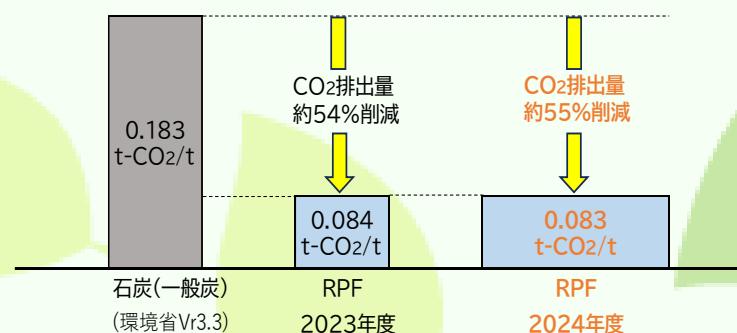
### 南港工場



CFP算定報告書

### RPFのカーボンフットプリント

**0.083t-CO<sub>2</sub>/t**



石炭(一般炭)のCFP(カーボンフットプリント)が0.183t-CO<sub>2</sub>/tに対して、フラフ燃料:0.048t-CO<sub>2</sub>/t、RPF:0.083t-CO<sub>2</sub>/tで、生産過程において石炭(一般炭)よりも環境負荷が、およそ1/2~1/3低いことがわかります。またEA21の認証を経てCO<sub>2</sub>削減に取り組んできたことにより、2023年-2024年度比でみると、CFPの数値が下がっています。カーボンニュートラルに向け、再エネ化や省エネ化が進んでいくと、このCFPの数値が下がり、最終的にはCFP:0のカーボンフリー燃料を目標に、OneStepを続けていきたいと思います。



# 教えて カーボンフットプリント！ CO<sub>2</sub>

## カーボンフットプリントの算定を開始したきっかけは何ですか？

2023年度よりGHG排出量のScope3の算定を開始しましたが、まだ取引先様より1次データ入手することが難しく、2次データを使用して算定を行っている現状がありましたので、まずは業界に先駆けて自社製品から一次データのもととなるCFPを算定しよう！と始めたのがきっかけです。



## カーボンフットプリントを算定するとどんな良い事がありますか？



RPF、フラフ燃料を1t製造するために排出したCO<sub>2</sub>量が一目でわかります。これまで取り組んできたCO<sub>2</sub>削減の取組みが商品にもダイレクトに反映されることになります。見た目が同じRPF・フラフ燃料でもCO<sub>2</sub>排出量が少ない商品のほうが、価値あるものになりつつあるため、商品価値の向上につながります。

## カーボンフットプリントにおける西部サービスグループのミッションはですか？

カーボンニュートラル達成に向けて、RPF・フラフ燃料のカーボンフットプリントの数値を下げていき、最終的にはCO<sub>2</sub>ゼロ排出の燃料、【カーボンフリーのRPF・フラフ燃料】を製造することをミッションと考えています！



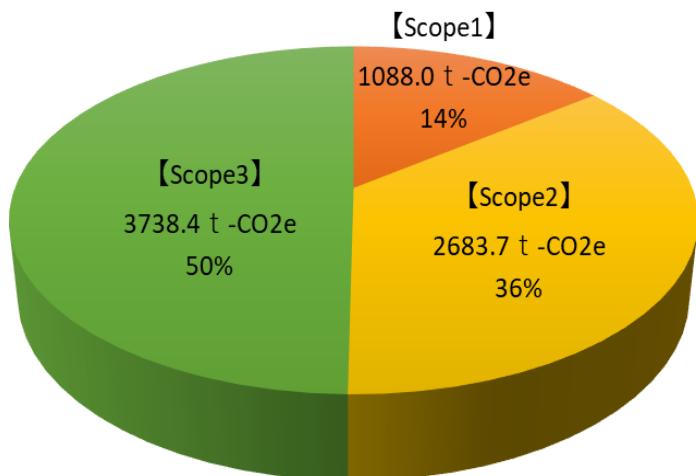
カーボンニュートラルへ向けて  
OneStep！



# サプライチェーン排出量(Scope3算定)

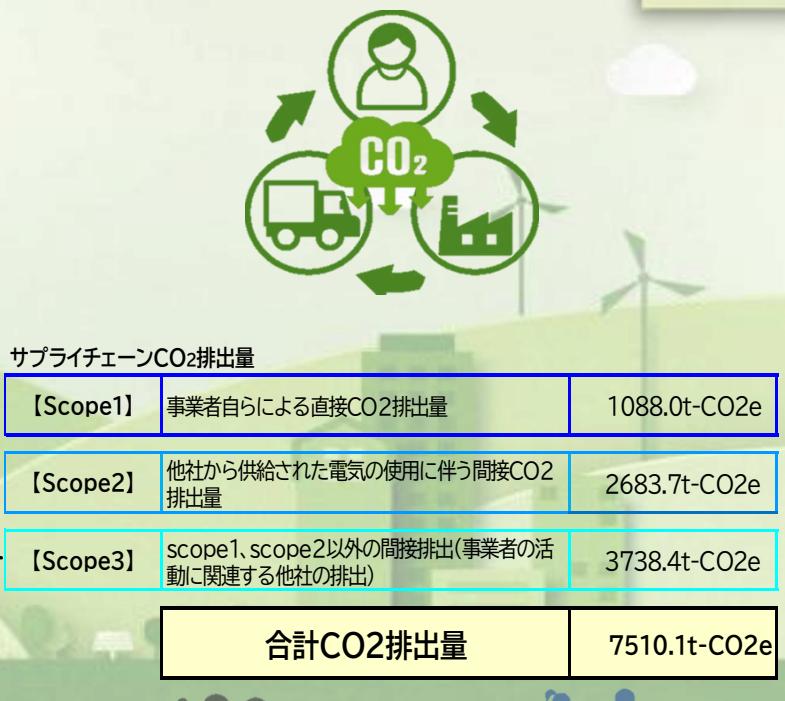
サプライチェーン排出量とは、事業者自らの排出だけでなく、事業活動に関するあらゆる排出を合計した排出量を指します。つまり、原料調達・製造・物流・販売など、一連の流れ全体から発生する温室効果ガス排出量のことです。2050年カーボンニュートラルを達成するにあたり、まず最初にすべきことは、自社のサプライチェーン排出量を算出し、どの分野からの排出量が多いのかを把握することです。西部サービスグループは、サプライチェーン排出量(Scope3)の算出に取り組み、2023年度から毎月算出を行い、ホームページ上に公開しています。

## サプライチェーンCO<sub>2</sub>排出量<西部サービスグループ 2024年度>



- 【Scope1】  
事業者自らによる直接CO<sub>2</sub>排出量
- 【Scope2】  
他社から供給された電気の使用に伴う間接CO<sub>2</sub>排出量
- 【Scope3】  
Scope1, Scope2以外の間接排出  
(事業者の活動に関連する他社の排出)

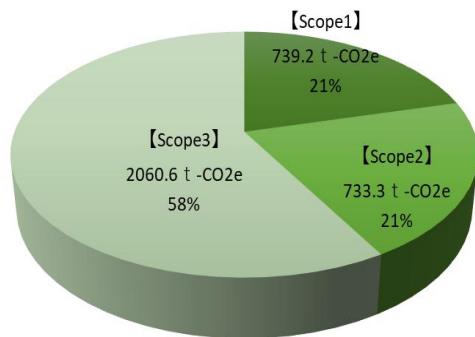
Scope3 内訳	上流	
	カテゴリ	値 (t-CO2e)
Scope3 内訳	カテゴリ1 (購入した製品・サービス)	1165.32t-CO2e
	カテゴリ2 (資本財)	462.08t-CO2e
	カテゴリ3 (Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動)	713.47t-CO2e
	カテゴリ4 (輸送、配送(上流))	371.59t-CO2e
	カテゴリ5 (事業から出る廃棄物)	0.66t-CO2e
	カテゴリ6 (出張)	3.21t-CO2e
	カテゴリ7 (雇用者の通勤)	0.97t-CO2e
	カテゴリ8 (リース資産)	
Scope3 内訳	カテゴリ9 (輸送、配送(下流))	1021.06t-CO2e
	カテゴリ10 (販売した製品の加工)	
	カテゴリ11 (販売した製品の使用)	
	カテゴリ12 (販売した製品の廃棄)	
	カテゴリ13 (リース資産 下流)	
	カテゴリ14 (フランチャイズ)	
	カテゴリ15 (投資)	



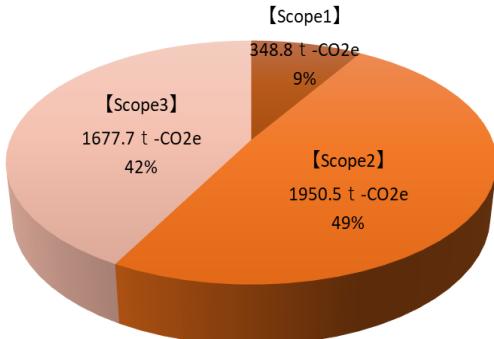
## Supply Chain Emissions



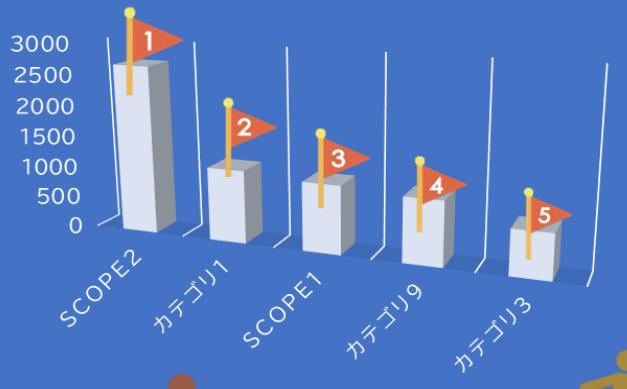
### サプライチェーンCO<sub>2</sub>排出量 『西部サービス株式会社 2024年度』



### サプライチェーンCO<sub>2</sub>排出量 『有限会社アルファフォルム 2024年度』



### CO<sub>2</sub>排出カテゴリ別トップ5



西部サービスグループではエネルギー利用に由来するCO<sub>2</sub>排出の割合が非常に高く、いかにエネルギーを効率的に使用するか、また再エネ化・省エネ化するかがカーボンニュートラルに向けてのキーポイントとなります。





# 漁網のリサイクルループ 更なる進化へ

前回のCSR報告書ではリサイクルしにくい漁網をRPF原料にしたり、プラ原料のペレットに戻すことによりリサイクルループの確立までをご報告致しました。

親会社である阪和興業をはじめ各漁業組合や協力業者様のご協力のもと、その後は各地で漁網のリサイクルに取り組んでまいりました。

**漁網が…**

**RPF燃料や新しいまき網に変身!!**



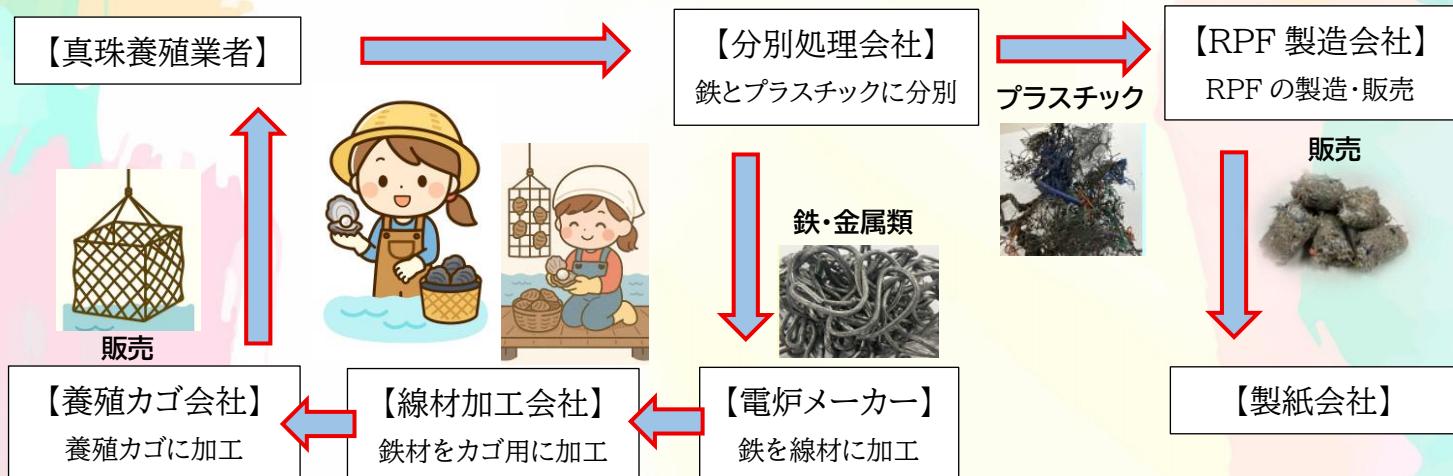
*One step*



**更なる進化へ!!**

そして！今回はさらにリサイクルが一段と困難である使用済み真珠養殖カゴを、新たな養殖カゴとして再製品化に成功！資源循環するリサイクルスキームのしくみをご案内させていただきます。

**使用済み真珠養殖カゴから新たな真珠養殖カゴを創り出す!!**



**回収されて  
生まれ変わる!!**



今まで放置されていたカゴが…



# Re:ism



## 大阪・関西万博

### 「食と暮らしの未来ウィーク」

### 水産庁ブースで Re:ism の取組を展示！



大阪・関西万博の開催期間中に行われた8つのテーマウィークのうち、伝統文化や地域の資源、多様な地域の食、最先端技術等を発信する「食と暮らしの未来ウィーク」の水産庁ブースの一部で、Re:ism の漁網リサイクルの取り組みの展示を行いました。

海を連想させるブースで漁網のリサイクルループの仕組みや実際に作り出された商品などを展示しました。



滝波農林水産副大臣と  
ハンゼン EU 農業委員  
ブースをご視察



Re:ismへの参加企業・団体は以前にご紹介した時より10増え、47までに拡大しており今後は水産業界団体との連携深化を視野にいれた新たな組織体制作りを計画しております。

すでに商品としての利用実績がある一方、更なる需要拡大が必要になってきます。そして環境負荷軽減へ向けた取り組み、水産業界への環境保全を更に進めていきます。



**漁網から造られた商品を  
来場者の方々にご紹介**



# 主な環境負荷の実績

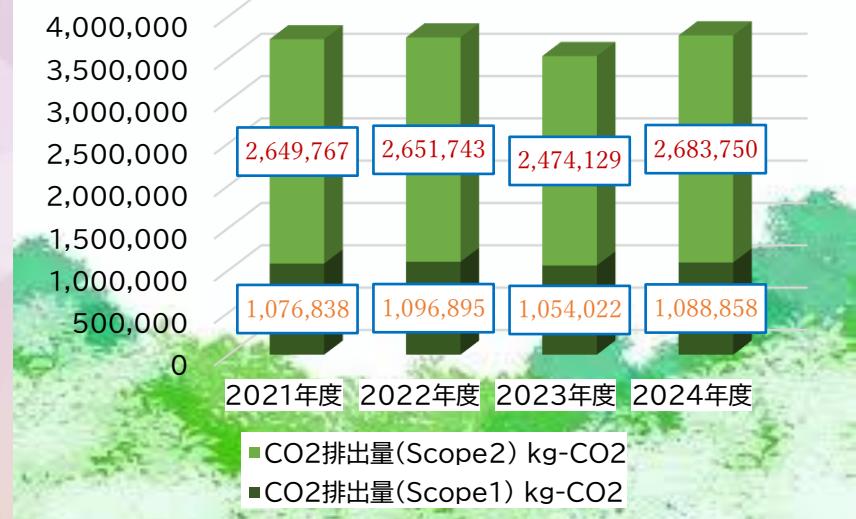
## 西部サービスグループ全体

CO2排出量(Scope1)	kg-CO2	1,076,838	1,096,895	1,054,022	1,088,858
CO2排出量(Scope2)	kg-CO2	2,649,767	2,651,743	2,474,129	2,683,750
一般廃棄物排出量	kg	1,544	1,499	1,341	1,390
水使用量	m³	8,604	7,774	5,956	7,543

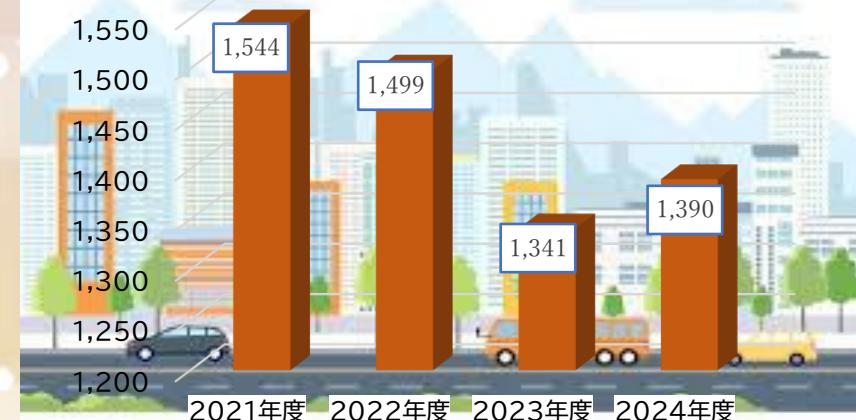
※電力の二酸化炭素排出量換算値:0.311kg-CO<sub>2</sub>/kWh

### CO<sub>2</sub> 排出量 kg-CO<sub>2</sub>

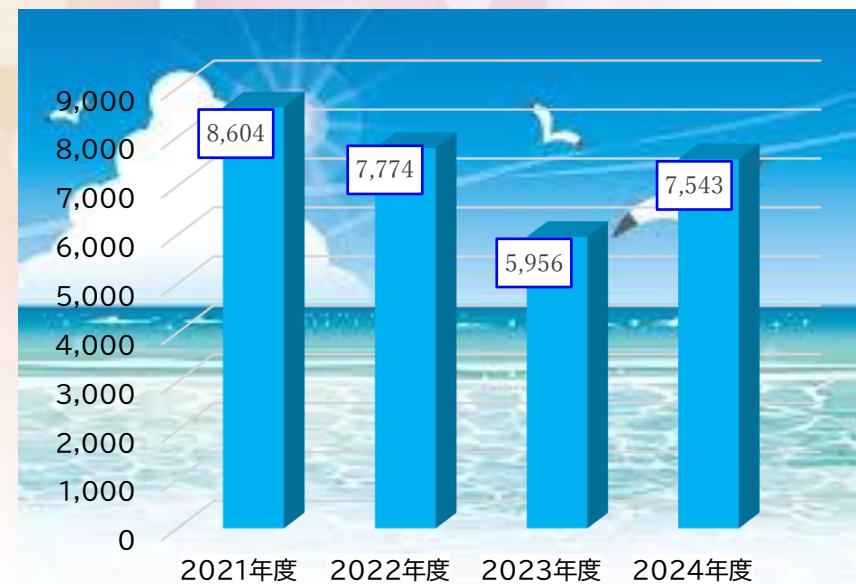
■Scope2  
■Scope1



### 一般廃棄物排出量 kg



### 水使用量 m³



## 西部サービス株式会社（神戸工場・大阪工場）

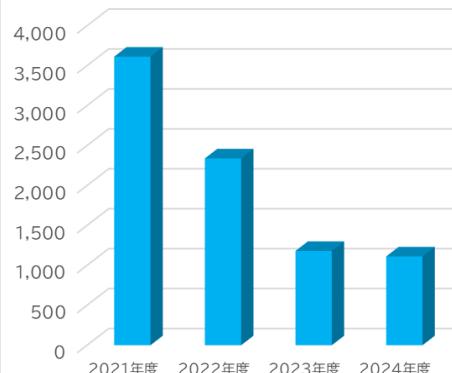
項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
CO2排出量(Scope1)	kg-CO2	791,986	778,877	730,113	740,095
CO2排出量(Scope2)	kg-CO2	1,140,289	892,424	741,098	733,264
一般廃棄物排出量	kg	848	809	675	592
水使用量	m³	3,613	2,339	1,181	1,112

※電力の二酸化炭素排出量換算値:0.311kg-CO2/kWh

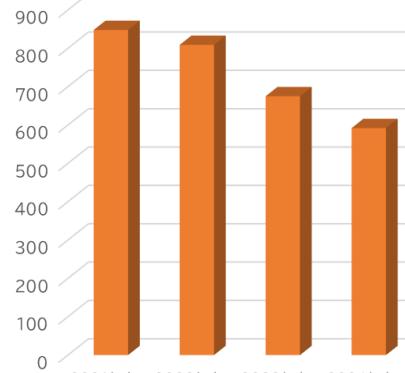
CO2排出量(Scope1、Scope2)kg-CO2



水使用量 m³



一般廃棄物排出量 kg

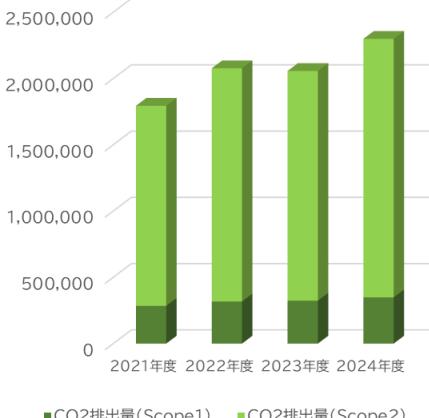


## 有限会社アルファフォルム（南港工場）

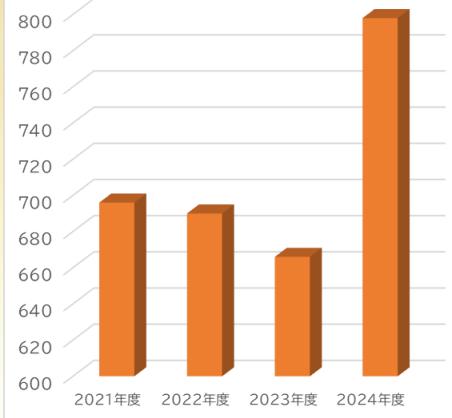
項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
CO2排出量(Scope1)	kg-CO2	284,852	318,018	323,909	348,763
CO2排出量(Scope2)	kg-CO2	1,509,478	1,759,319	1,733,031	1,950,486
一般廃棄物排出量	kg	696	690	666	798
水使用量	m³	4,991	5,435	4,775	6,431

※電力の二酸化炭素排出量換算値:0.311kg-CO2/kWh

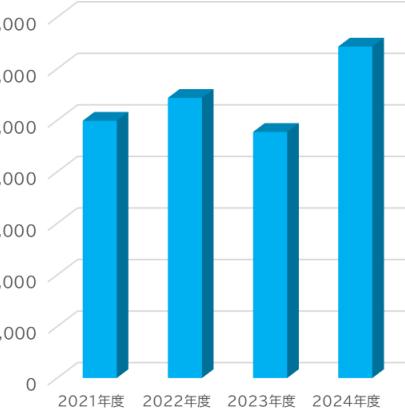
CO2排出量(Scope1、Scope2)kg-CO2

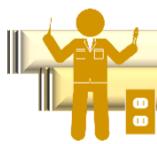


一般廃棄物排出量 kg



水使用量 m³



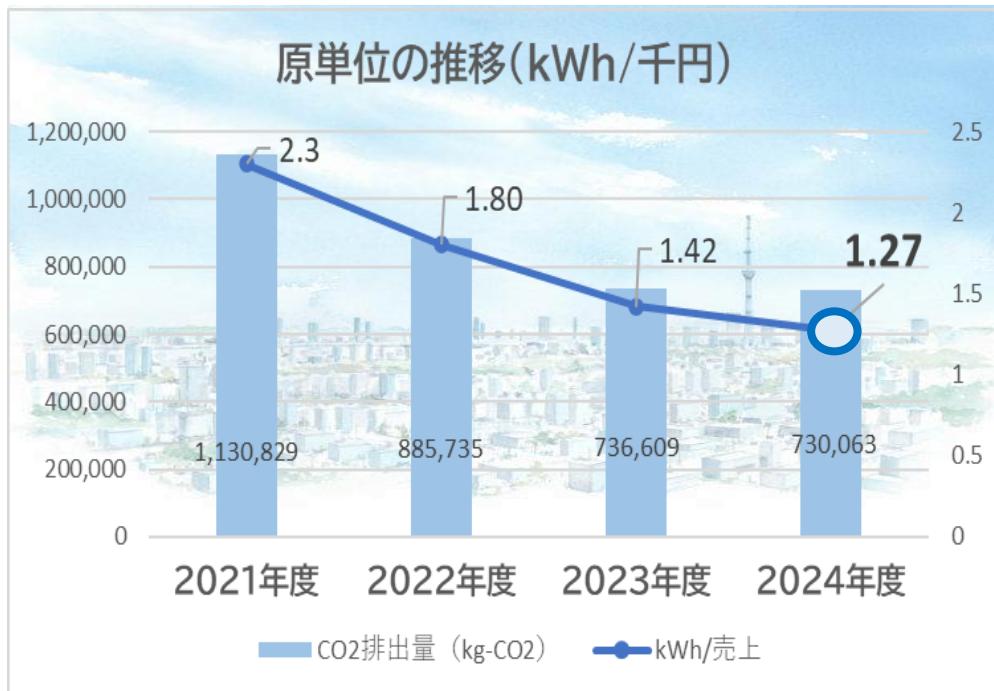


## 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画①

### 電力使用量削減による二酸化炭素排出量の削減

西部サービスグループの処理・製造プラントは全て電気で稼働しており、電気使用量の大部分を占めています。そのため工場内の電気をどれだけ効率よく使用できるかがCO<sub>2</sub>排出量削減の大きなポイントとなってます。

#### 神戸工場



©DESIGNALIKE

評価
目標 (基準年度対比99%)
1.40 kWh/千円
実績
1.27 kWh/千円

#### 取組結果とその評価、次年度の取組

大きな機械トラブルもなく、一年間を通して設備の安定稼働を行うことができた。フラフ燃料の需要も高く、昨年度比で約15%増産。エネルギー消費量を昨年度対比でほぼ同じくらいに抑える事ができたため、目標を大きく達成することとなった。次年度も機械の安定稼働を心掛け、燃料の増産に努めていく。

#### 取組計画と結果①

##### RPFとフラフ燃料の生産工場を集約

西部サービスグループではRPFとフラフ燃料の2種類のリサイクル燃料を製造していますが、生産品目を各工場ごとに集約することにより生産効率が上がり、製造時における電気使用量の大幅な削減に繋がりました。

取組結果
神戸工場:○ 南港工場:○

**RPF**

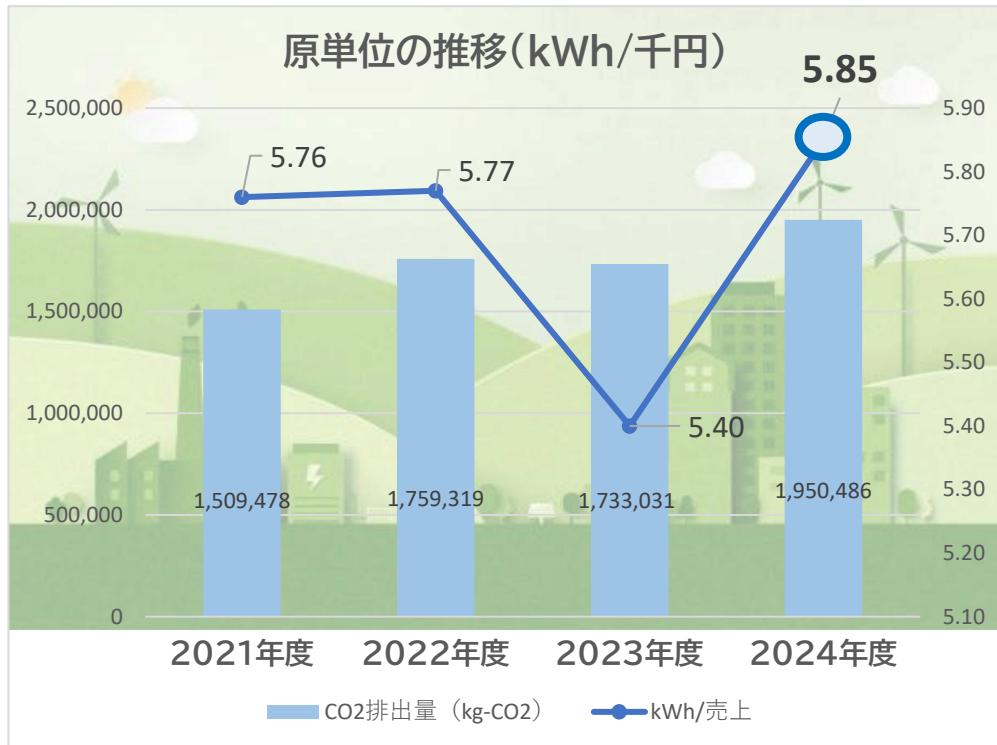
アルファフォルム南港工場に生産を集約。

**フラフ燃料**

西部サービス神戸工場に生産を集約。



## 南港工場



評価	
目標 (基準年度対比99%)	5.34 kWh/千円
実績	5.85 kWh/千円

## 取組結果とその評価、次年度の取組

2024年1月に新型の光学選別機に入れ替えたことにより、混合廃棄物からの原料回収量が増加。原単位目標の分母を「売上」としているが、原料回収の増加により生産量が大きく増加したため、売上対比での原単位目標が未達成となる。次年度は設備の安定稼働により電気使用の効率化を高め、より多くの廃棄物を受入できる体制を構築し、売上増を目指す。

### 取組計画と結果②

#### デマンド監視装置による電力計測

デマンド監視装置が作動すると、警報とともに工場内のパトライトが点灯。これにより作業員がすぐにに対応する事ができ、過度な消費電力を抑える事ができます。

取組結果	
神戸工場:○	南港工場:○



※工場内に設置している  
デマンド警報付きパトライト

### 取組計画と結果③

#### フラフ燃料・RPFの増産

それぞれの燃料生産を集約したことにより生産効率が上がり、増産に繋がる。

取組結果	
神戸工場:○	南港工場:○
前年対比 110%	前年対比 113%

### 取組計画と結果⑤

#### 未使用箇所の消灯

夜間の時間帯は、限られた設備のみを使用するため、工場内の照明は、必要な箇所のみを点灯する事を徹底しています。

取組結果	
神戸工場:○	南港工場:○

### 取組計画と結果④

#### 荷受け量の増加

リサイクル燃料の需要増加と営業チームの頑張りにより、廃棄物の荷受け量が増加。南港工場は、光学選別機の入替えにより回収原料が増え、荷受け量の増加以上に生産量が増加。目標が売上対比の原単位目標のため、結果的に環境目標が未達。次年度はさらなる売上増加を目指し、より多くの荷受けができるよう社内一丸となって取り組んできます。

取組結果	
神戸工場:○	南港工場:△

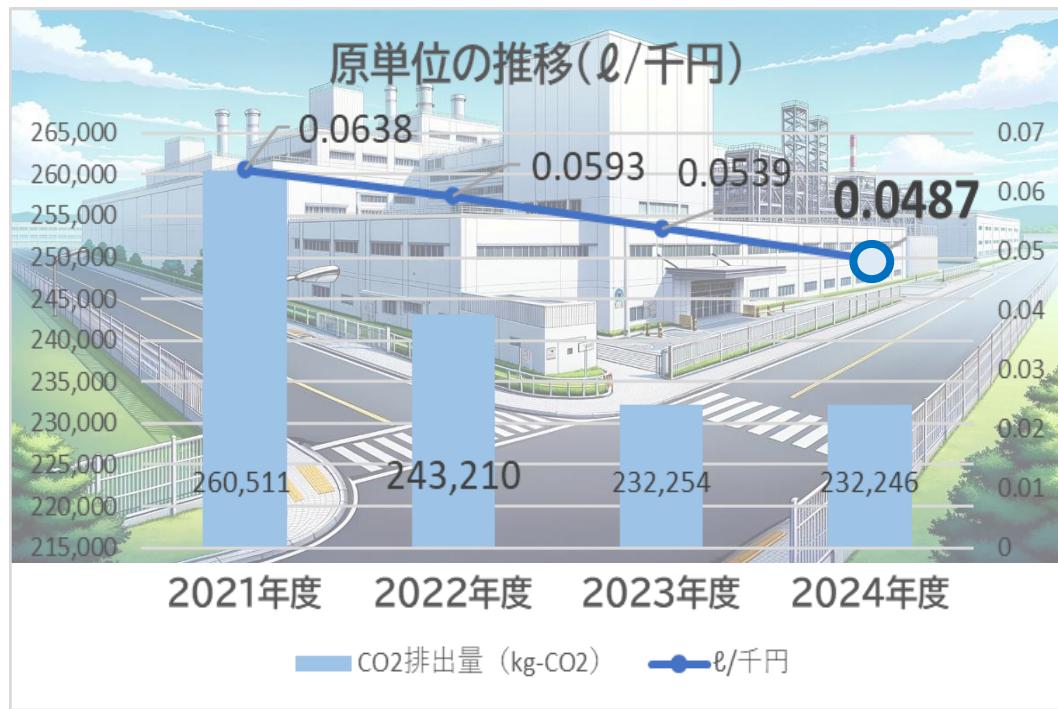


## 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画②

### 燃料使用量削減による二酸化炭素排出量の削減

西部サービスグループでは、工場内で稼働している車両系建設機械や収集運搬車両であるトラックは軽油、営業車両はガソリンを使用しています。電気の次にCO<sub>2</sub>排出量が多く、またCO<sub>2</sub>直接排出であるScope1に該当し、CO<sub>2</sub>削減のための大きなポイントとなっています。

#### 神戸工場：重機（軽油）



評価
目標 (基準年度対比99%)
0.534 ℓ/千円
実績
0.487 ℓ/千円

#### 取組結果とその評価、次年度の取組

製造プラントの自動化を進めたことにより、8月に工場内で稼働している重機を一台減車。生産量が増加しつつ、軽油の使用量が前年並みに抑えることに成功。原単位目標の環境目標の達成となる。次年度もどうすれば重機の効率的な運用ができるか考えながら取り組んでいく。

#### 削減のための取組計画と結果



#### 取組計画と結果①

##### B5のテスト導入 (バイオディーゼル5%)

植物油からなる廃食用油を原料に化学反応で精製したディーゼルエンジン用の燃料です。カーボンニュートラルに向かっていくなかでとても重要な位置づけの燃料です。詳しくはP15をご覧ください。



#### 取組計画と結果②

##### アイドリングストップの実施

未使用時に確実なアイドリングストップを実行する事を全員で取り組んでいます。無駄な軽油の燃焼をなくし、地球温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>排出量の削減に努めるとともに、燃料代の削減にも寄与します。

取組結果	
神戸工場:○	南港工場:○

## 南港工場:重機(軽油)



### 取組結果とその評価、次年度の取組

2024年1月に新型の光学選別機に入れ替えたことにより、混合廃棄物からの原料回収量が増加。原単位目標の分母を「売上」としているが、搬入量の増加よりも生産量が大きく増加し、その分、重機の稼働率が上がり、軽油の使用量が大きく増加となる。軽油使用量の効率化とともに、分母の売上を上げるように、工場内の受け入れ態勢を整え、売上増に努める。

### 取組計画と結果③

#### 生産ラインの自動化

取組結果	
神戸工場:○	南港工場:○



効率化で  
軽油使用  
量の削減

自動で原料搬送



自動搬送コンベア

自動で原料搬送

新しく設置した直投コンベアと  
直投シート。搬入された原料  
が自動で圧縮梱包施設へ搬入  
されます。

### 取組計画と結果④

#### 日常点検の実施

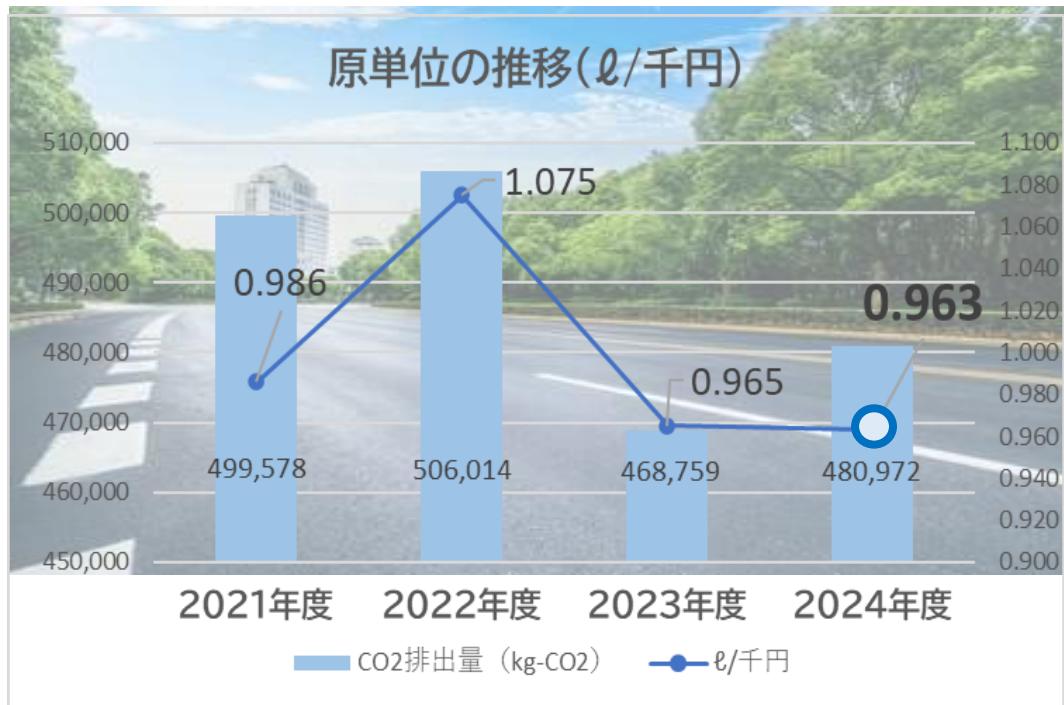
重機を安定的に負荷がかならないよう  
に動かす事が、燃費向上とCO<sub>2</sub>削減  
に繋がります。毎日酷使している重機の  
ため、日常点検はかかせません。これを  
毎日続けることが、安定稼動の重要な  
ポイントです。

取組結果	
神戸工場:○	南港工場:○



日常点検  
ヨシ!

## 魚崎事業所: トラック車両(軽油)



評価
X
目標 (基準年度対比99%)
0.955 ℓ/千円
実績
0.963 ℓ/千円

### 取組結果とその評価、次年度の取組

基準年度よりは改善されているものの目標の1%削減には届かず。売上が伸びているが、それ以上に軽油の使用量の伸び率が高い。日常点検の実施、効率的なルートでの収集活動、アイドリングのストップの基本的事項を徹底し、次年度は達成できるように取り組んでいく。

#### 取組計画と結果①

##### AI配車で収集ルートの効率化

導入したAI配車システム「配車頭」。従来は配車担当が経験を元に配車ルートを考えていましたが、現在はAIで配車ルートを組むことで、ルートの最適化。収集効率が向上したと同時に、労務時間の改善にも繋がりました。

取組結果

神戸工場:○



#### 取組計画と結果②

##### 日常点検の電子化

従来、紙で手書きしていた点検表を電子化に切り替えました。クラウド上で車両の点検状況を管理者が確認することにより、車両の維持管理を適正に行い、車両の燃費向上と安全業務に繋げています。

取組結果

神戸工場:○

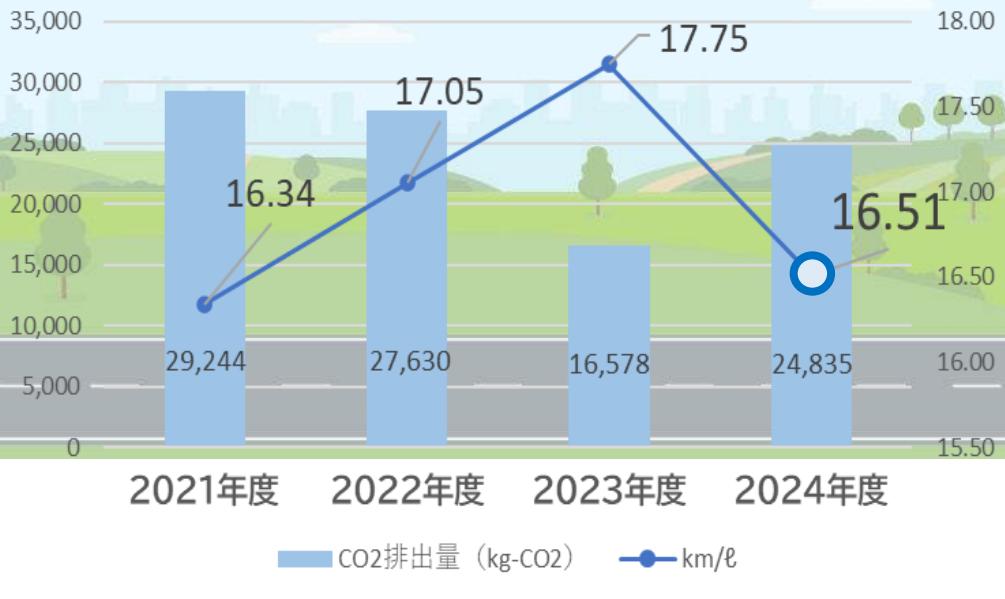




## 神戸工場: 営業車両(ガソリン)



### 燃費の推移(km/ℓ)



### 取組結果とその評価、次年度の取組

ガソリン使用量は前期から減少したものの、燃費目標は達成できず。営業車両はすべてハイブリッド車であるものの走行距離が10万kmを超えている、またはそれに近い車両が多くあり、燃料の使用効率が下がっている事が予測される。  
急発進・急減速を抑えたエコドライブを意識しつつ、可能な限り公共交通機関を使用した訪問の切り替えに取り組んでいく。

#### 取組計画と結果①

##### カーシェアリングと公共交通機関を利用したCO2削減

##### 削減のための取組計画と結果

取組結果 神戸工場:○



カーシェアリングでCO2削減！

#### 取組計画と結果②

##### 低燃費車への入替と効率的なルートでの営業活動

車両更新時に進めていた低燃費車への入替えが進み、昨年度、営業車両のハイブリッド導入率が100%となり、燃費が大幅に改善しました。

取組結果

神戸工場:○



100%



全営業車両をハイブリッドへ

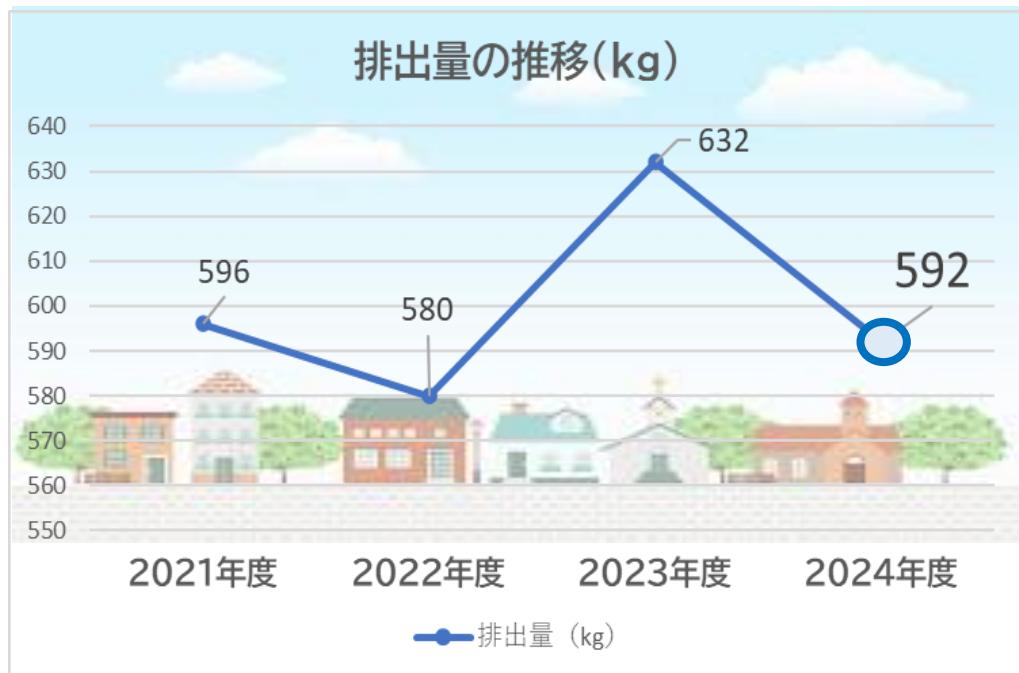


## 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画③

### 一般廃棄物の削減

西部サービスグループは産業廃棄物のリサイクル工場であるため、自社からくる廃棄物の多くは工場内で再資源化が可能です。そのため一般廃棄物と排出するものは最低限に絞り込み、環境負荷の低減に努めています。

神戸工場



評価
○
R
目標（基準年度対比99%）
626 kg
実績
592 kg

### 取組結果とその評価、次年度の取組

人員増の影響もあり、上期は増加傾向になっていたが、分別の徹底と必要予類のデータ化、コピー用紙、シュレッダーゴミのRPF化をより取組み、下期以降は排出量減少となり、通期で環境目標の達成となる。

削減のための取組計画と結果

各フロアに設置された紙ゴミ BOX

取組計画と結果①

コピー用紙、シュレッダーゴミのリサイクル燃料化

当社ではRPF(固体燃料)を製造しているため、自社からくるコピー用紙や、シュレッダーゴミなどの紙くずは、全てRPFの原材料として再資源化しています。

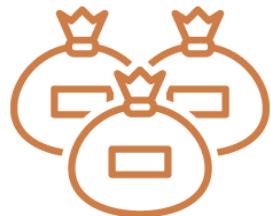
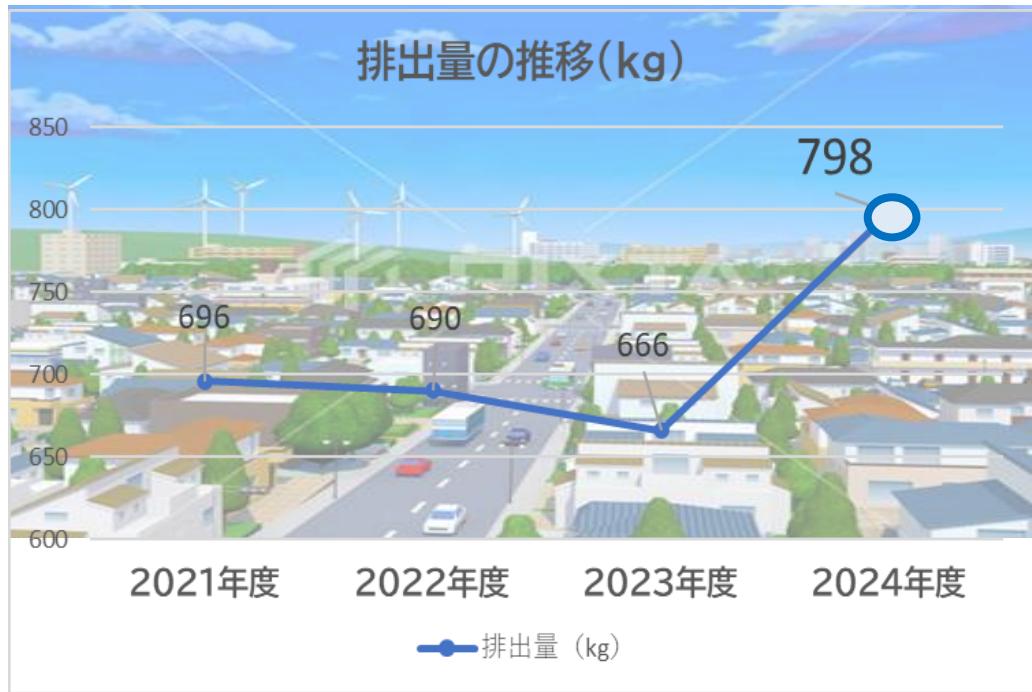
各フロアに設置された紙ゴミ BOX → RPF → フラフ燃料

事務所から発生した紙ゴミは全てRPF・フラフ燃料に生まれ変わります。

取組結果
神戸工場:○
南港工場:○



## 南港工場



評価	
X	未達成
目標 (基準年度対比99%)	659 kg
実績	
798 kg	

## 取組結果とその評価、次年度の取組

従業員の増加に伴い、発生量が増加。必要書類のデータ及び分別の徹底を行い、削減に努めています。

### 取組計画と結果②

#### 必要書類のデータ化

当社では書類関係の電子化を積極的に進め、電子マニフェストの導入率は現在95%以上となりました。また電子契約書の導入、電子請求書への切り替えを行い、紙の使用量を削減しています。

取組結果	
神戸工場:○	南港工場:○



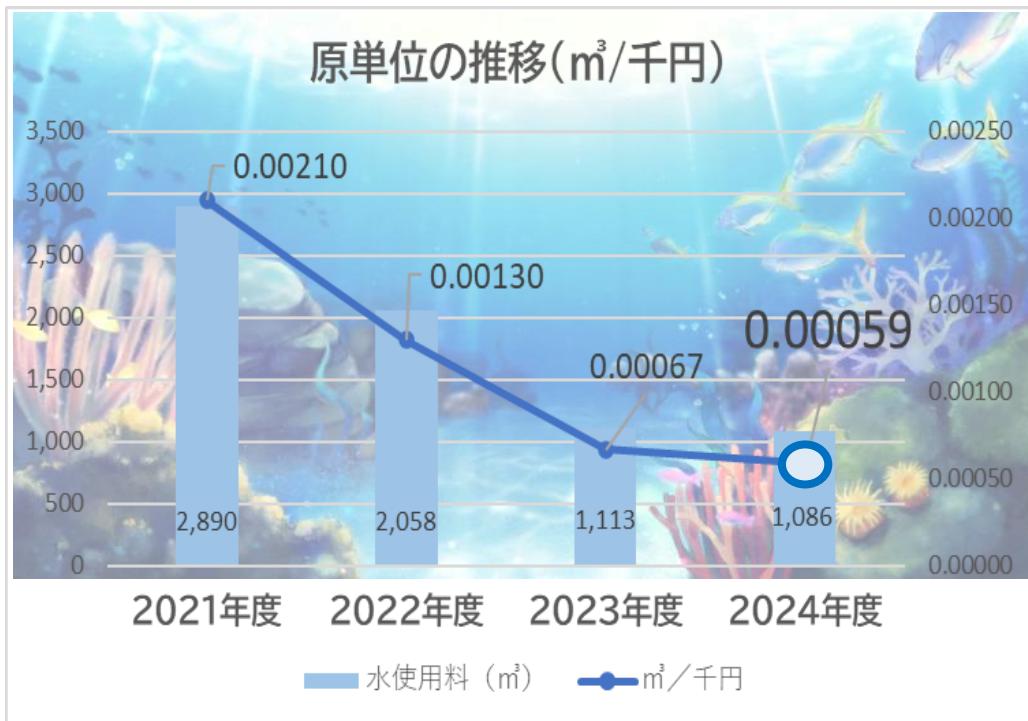


## 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画④

### 水使用量の削減

RPFを製造する際、約160°Cの熱で成型加工を行った後、冷却するために水を使用をし、西部サービスグループの水使用量の大部分はこの冷却水によるものです。いかに無駄なく効率的に冷却水を使用するかが使用量削減のポイントになります。

#### 神戸工場



評価
○
目標 (基準年度対比99%)
0.00066 m³/千円
実績
0.00059 m³/千円

#### 取組結果とその評価、次年度の取組

7月度のRPF臨時製造の際に一次的に水使用量が増加となるが、それ以外は毎月、目標の達成を維持。次年度も継続して無駄な冷却水の使用がないように取り組んでいく。

**削減のための取組計画と結果**

取組結果	
神戸工場: ○	南港工場: ○

**取組計画と結果①**

**RPF水沈CVの冷却水、未使用時は止める**

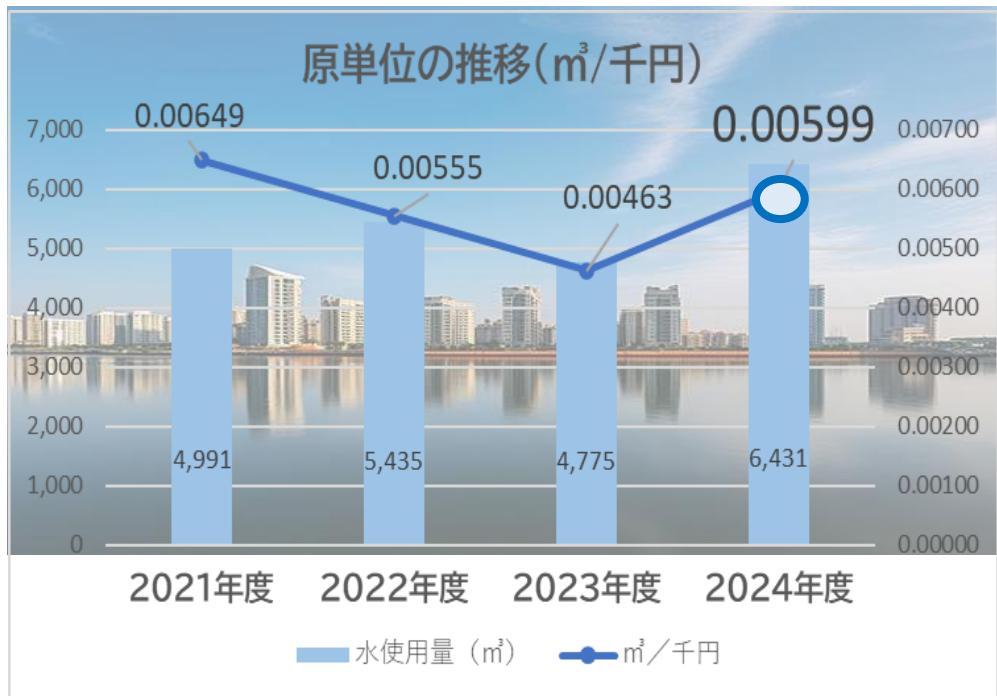
西部サービスグループで最も多く水を使用しているのが、RPF製造時に使用する冷却水です。高温のまま保管しておくと、発火のリスクがあるため、製造時には必ず使用しますが、必要以上の水は使わないようになりますため、1時間ごとに冷却水の水位を確認し、チェックしています。

↓
**水沈コンベア**

製造したばかりのRPFは高温のため、水沈コンベアに通することで、温度を下げます。



## 南港工場



評価
X
目標 (基準年度対比99%)
0.00458 m <sup>3</sup> /千円
実績
0.00599 m <sup>3</sup> /千円

## 取組結果とその評価、次年度の取組

2024年1月に新型の光学選別機に入れ替えたことにより、混合廃棄物からの原料回収量が増加。原単位目標の分母を「売上」としているが、搬入量の増加よりも生産量が大きく増加し、その分、冷却水の使用量が上がる結果となる。無駄な水使用はなくしつつ、分母の売上を上げるように、工場内の受け入れ態勢を整え、売上増に努める。

## 取組計画と結果②

### 節水の掲示による注意喚起

水の使用量削減は、無駄な使用を無くすことが基本です。  
使用後に蛇口が緩んでいたり、出しっぱなしで他の作業をすることがないように、各水洗場に掲示を行い、節水を心掛けるようにしています。

取組結果	
神戸工場:○	南港工場:○

節水の基本は、  
蛇口をしっかり締めることだよ！



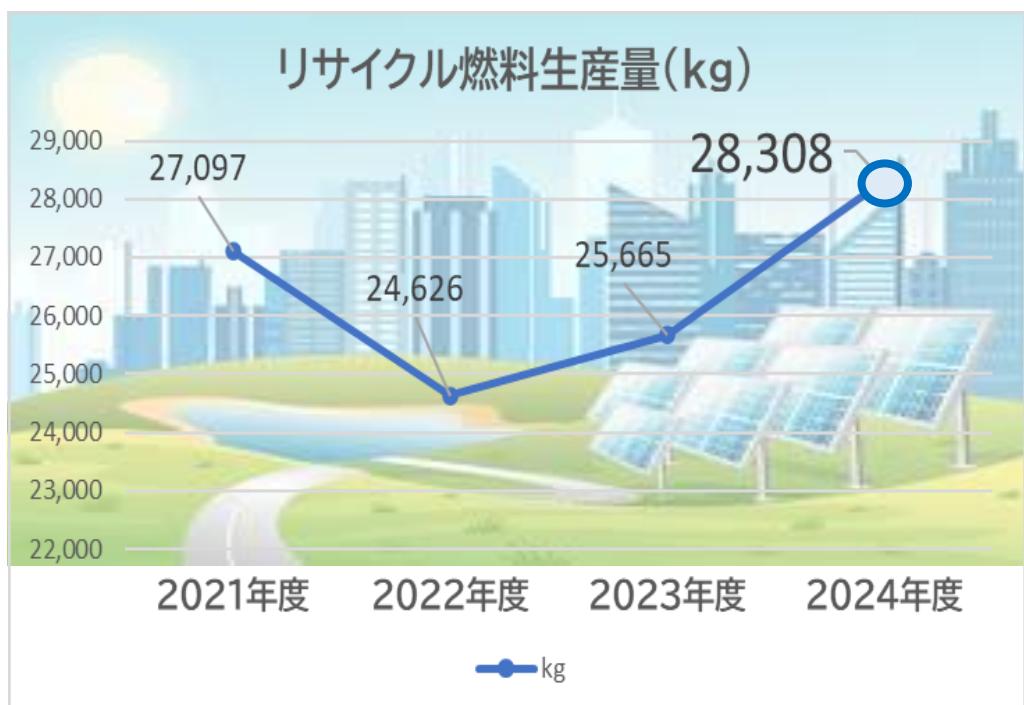


## 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画⑤

### リサイクル燃料の増産

RPF・フラフ燃料は廃棄物を原料としたリサイクル燃料です。増産するためには原料となる廃棄物の獲得と生産設備の安定稼働、そして品質を維持するための純度の高い選別能力の維持がポイントとなっています。カーボンニュートラルに向け需要が非常に高く、社会のCO<sub>2</sub>削減をミッションに掲げている当社にとって大きな目標となっています。

#### 神戸工場



評価
目標 (基準年度対比99%)
25,793 kg
実績
28,308 kg

#### 取組結果とその評価、次年度の取組

リサイクル燃料の増産は順調に右肩上がりで推移。脱炭素への取組みからフラフ燃料も需要が高いので、お客様の要望に答えるように品質管理を行なながら、原料確保へも取組み、引き続き増産に取り組んでいく。

#### 取組計画と結果①

##### 廃棄物受託量の増加

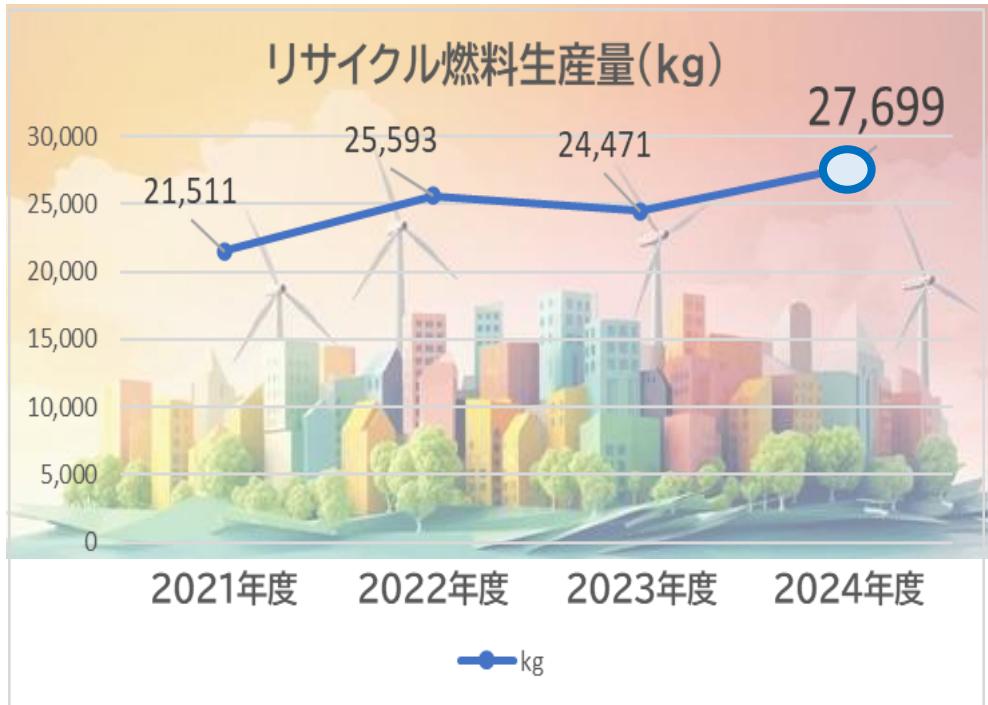
RPFやフラフ燃料を製造するために必要なのが、原料となる産業廃棄物です。それらを集めてくるのが、営業部の役割となっています。お客様のニーズにお応えできるよう日々奮闘しています！！

取組結果	
神戸工場:○	南港工場:○

脱炭素社会のため  
今日も一日がんばるぞ！



## 南港工場



評価
○
目標 (基準年度対比99%)
24,593 kg
実績
27,699 kg

## 取組結果とその評価、次年度の取組

2024年1月に新型の光学選別機を入れ替えたことにより、RPF生産量が増加。現在、脱炭素における有力エネルギーとして需要が高い時期のため、品質管理を徹底し、安定品質・安定生産に繋げていく。

## 取組計画と結果②

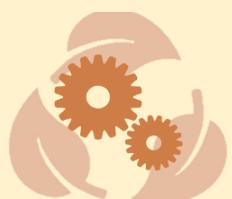
### 機械の安定稼働、選別の徹底

廃棄物からリサイクル燃料を製造する上で何より重要視していることは品質基準です。中でも原材料となるプラスチックの中で選別除去する必要がある材質がPVC(塩ビ)です。当社では見た目で判別が難しいPVCを効率よく除去するため、光学選別機を導入しています。確実にPVCを除去するため、エアーノズルやベルトコンベアなど日常点検を確実に行い、安定稼働させる事により、高品質の原料を多く回収する事ができます。その結果、生産量増大に繋がります。



2024年1月に導入した最新鋭の光学選別機：トムラ社製「AUTOSORT SPEEDAIR」と「AUTOSORT」。2台の光学選別機を導入することにより、廃棄物から無駄なく高品質な原料を回収できます。

取組結果	
神戸工場:○	南港工場:○



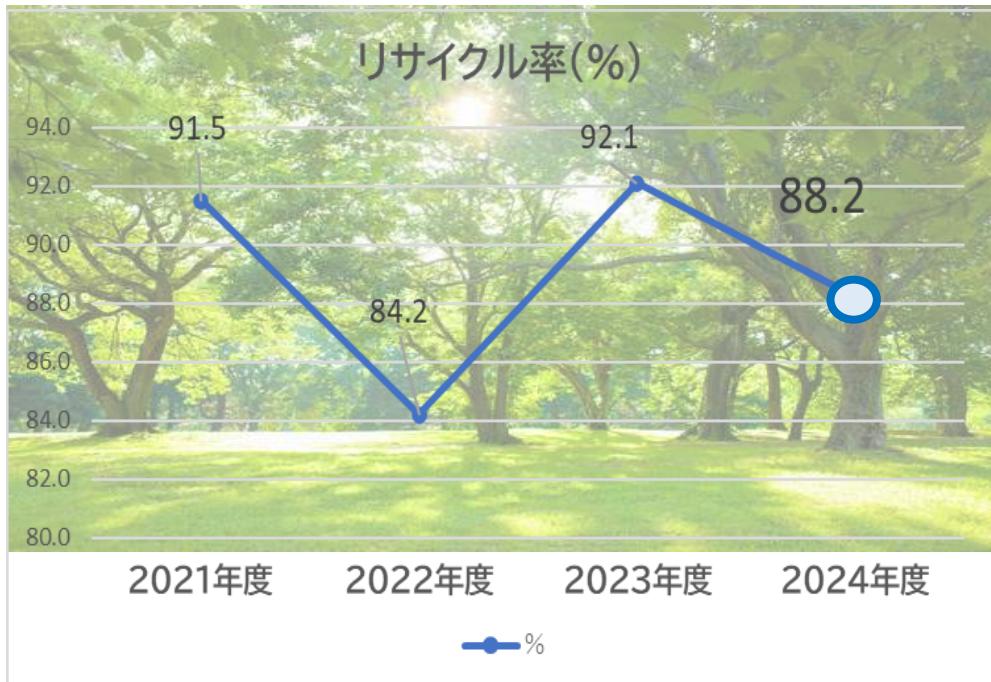


## 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画⑥

### 受託廃棄物のリサイクル率の向上

西部サービスグループは廃棄物の再資源化を通して、循環型社会を構築することを使命と考えています。当社リサイクル率の自社基準として、焼却(サーマルリサイクル)は除き、リサイクル燃料化、有価物化、マテリアルリサイクル化をリサイクル(再資源化)としてカウントしています。

#### 神戸工場



評価
X
目標 (基準年度対比99%)
92.1 %
実績
88.2 %

### 取組結果とその評価、次年度の取組

第4四半期は、前年対比よりも改善傾向となり、90%台を維持できている。このまま次年度も良い状態を継続させ、次年度の環境目標達成を目指す。

#### 取組計画と結果①



##### 選別作業の徹底

当社では機械選別をメインとしたオートメーション方式を採用していますが、高性能な機械を導入しても100%選別出来る訳ではないので、手作業での選別を組み合わせ、少しでも多く再資源化が出来るように努めています。



効率よく選別出来る機械選別

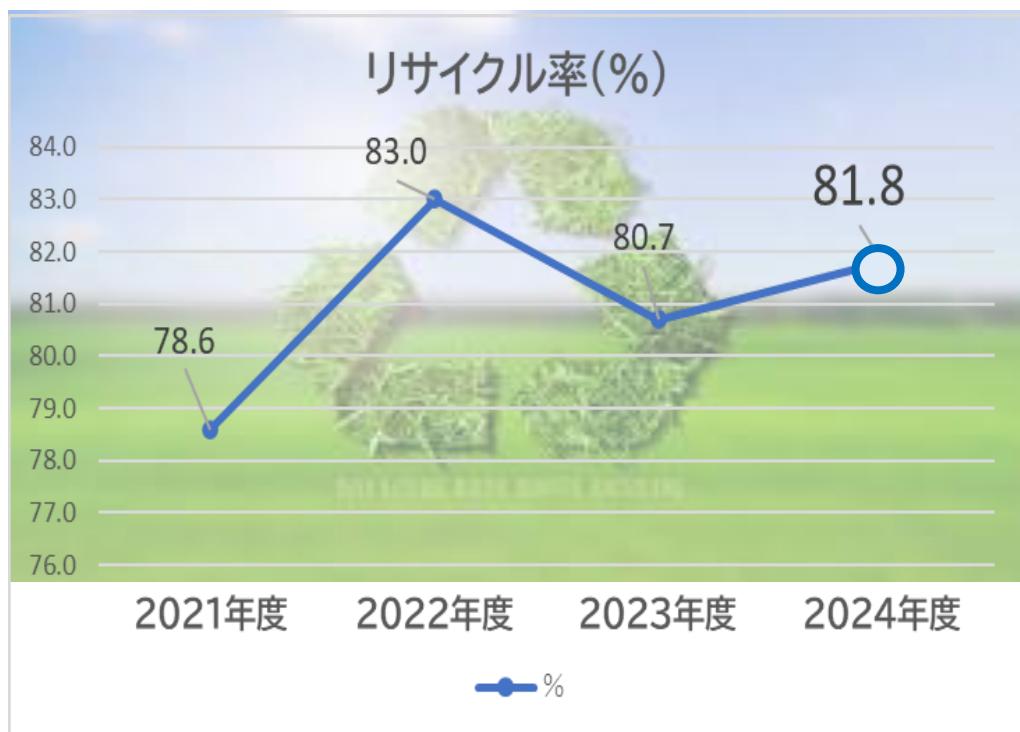
取組結果
神戸工場:○ 南港工場:○



細かい選別ができる手選別



## 南港工場



評価	
目標 (基準年度対比99%)	81.1 %

実績
81.8 %

## 取組結果とその評価、次年度の取組

上期は前年対比で▲2%と数字が伸びなかったが、下期は前年対比+3%と大きく向上し、通年で+1%と環境目標達成となる。光学選別機入替により、より多くの原料を回収できるようになり、RPF生産量が伸びたことが要因。

## 取組計画と結果②

### 搬出先(RPF・フラフ燃料)の開拓

世界が脱炭素社会の構築に向けて舵を切り、再生可能エネルギーを始めとした新エネルギーの需要が高まる中、RPF・フラフ燃料を導入するユーザー様が増えています。需要家の要望に応えられるようにリサクル燃料の増産を行うことで、リサイクル率の向上へ繋げていきます。

取組結果	
神戸工場:○	南港工場:○





# 環境目標と実績

項目	年度	2023年度		2024年度		達成状況	2025年度	2026年度
		基準年	目標	実績	目標		目標	目標
電力使用量削減による二酸化炭素排出量削減	西部サービス(株) 神戸工場	kg-CO <sub>2</sub>	736,609	-	730,063		-	-
		kWh/千円	1.42	1.40	1.27	○	1.39	1.37
		基準年度比	-	99%	89%		98%	97%
	西部サービス(株) 大阪工場	kg-CO <sub>2</sub>	4,489	-	3,201		-	-
		kWh	-	※未稼働のため目標設定なし				
		基準年度比	-	-	-		-	-
	(有)アルファフォルム 南港工場	kg-CO <sub>2</sub>	1,733,031	-	1,950,486		-	-
		kWh/千円	5.40	5.34	5.85	×	5.29	5.24
		基準年度比	-	99%	108%		98%	97%
LPG使用量削減による二酸化炭素排出量削減	西部サービス(株) 両工場	kg-CO <sub>2</sub>	1,150	-	1,169		-	-
		基準年度比	-	※使用量が少ないため目標設定なし				-
	(有)アルファフォルム 南港工場	kg-CO <sub>2</sub>	1,179		1,095		-	-
		基準年度比	-	※使用量が少ないため目標設定なし			-	-
燃料使用量削減による二酸化炭素排出量削減	西部サービス(株) 神戸工場	kg-CO <sub>2</sub>	258,832	-	257,082		-	-
		km/ℓ ※社用車	17.75	17.84	16.51	×	17.92	18.01
		基準年度比 ※社用車	-	100.5%	93.0%		101.0%	101.5%
		ℓ/千円 ※重機	0.0539	0.0534	0.0487	○	0.0528	0.0522
		基準年度比 ※重機	-	99%	90%		98%	97%
	西部サービス(株) 大阪工場	kg-CO <sub>2</sub>	468,759	-	480,972		-	-
		ℓ/千円 ※トラック	0.965	0.955	0.963	×	0.945	0.936
		基準年度比 ※トラック	-	99%	100%		98%	97%
	(有)アルファフォルム 南港工場	kg-CO <sub>2</sub>	322,730	-	347,668		-	-
		ℓ/千円 ※重機	0.1210	0.1197	0.1256	×	0.1186	0.1173
		基準年度比 ※重機	-	99%	104%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO <sub>2</sub>	3,526,779		3,771,736			
一般廃棄物の削減	西部サービス(株) 両工場	kg	632	626	592	○	619	613
		基準年度比	-	99%	94%		98%	97%
	(有)アルファフォルム 南港工場	kg	666	659	798	×	653	646
		基準年度比	-	99%	120%		98%	97%
受託廃棄物のリサイクル率の向上	西部サービス(株) 神戸工場	%	92.1%	92.1%	88.2%	×	92.1%	92.1%
		基準年度比	-	100.0%	95.7%		100.0%	100.00%
	(有)アルファフォルム 南港工場	%	80.7%	81.1%	81.8%	○	81.5%	81.9%
		基準年度比	-	100.5%	101%		101.0%	101.5%
水使用量の削減	西部サービス(株) 神戸工場	m <sup>3</sup>	1,113	-	1,086		-	-
		m <sup>3</sup> /千円	0.000677	0.000660	0.000588	○	0.000653	0.000647
		基準年度比	-	99%	88%		98%	97%
	西部サービス(株) 大阪工場	m <sup>3</sup>	68	-	26		-	-
		基準年度比	-	※未稼働のため目標設定なし				-
	(有)アルファフォルム 南港工場	m <sup>3</sup>	4,775	-	6,431		-	-
		m <sup>3</sup> /千円	0.00463	0.00458	0.00599	×	0.00453	0.00449
		基準年度比	-	99%	130%		98%	97%
リサイクル燃料の増産	西部サービス(株) 神戸工場	kg	25,665	25,793	28,308	○	26,566	26,824
		基準年度比	-	100.5%	109.0%		101.0%	101.5%
	(有)アルファフォルム 南港工場	kg	24,471	24,593	27,699	○	24,715	24,838
		基準年度比	-	100.5%	107.0%		101.0%	101.5%
溶剤使用量削減(あるいは適正管理)		PRTRに該当する物質の取り扱いはありません。						

※電力の二酸化炭素排出係数 0.311 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 2021年度:電力会社(※関西電力(株))の調整後の係数

※原単位の分母(売上): 千円

※化学物質の使用はないため、溶剤使用量削減などの目標設定はありません。



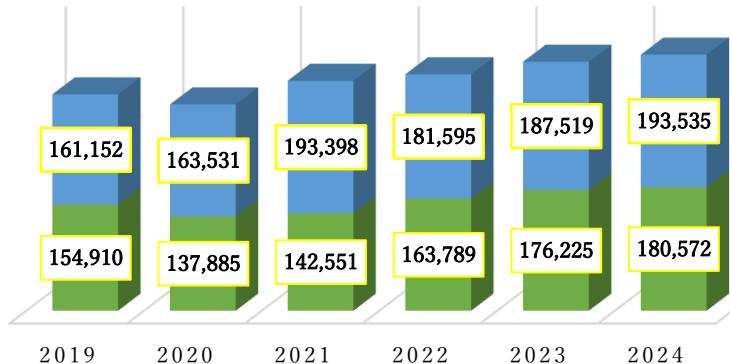
# 太陽光発電の取り組み



2024年度 西部サービスグループの年間発電量とCO<sub>2</sub>削減量を発表!!

## 太陽光発電量(KWH)

■西部サービス ■アルファフォルム



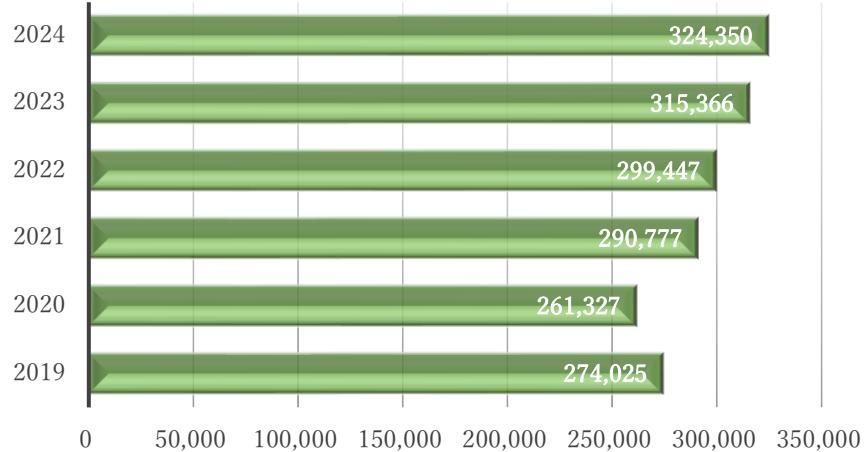
2024年度 グループ全体で  
**374,107kWh**

の発電に成功!

1年間に使用する一般家庭の  
使用電力量 約90件分に相当  
します。



## CO<sub>2</sub> 削減量(kg)



2024年度 グループ全体で  
**324,350kg-CO<sub>2</sub>**

のCO<sub>2</sub>削減に成功!

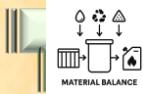
杉の木の年間 CO<sub>2</sub> 吸収量に  
換算すると約 23,100 本分の  
CO<sub>2</sub> 削減効果になります。



## 【日頃のメンテナンスも大事!!】

当社は2工場で 1540 枚のソーラーパネルを設置しています。  
工場屋上に平置きで設置しているため、  
粉塵や埃が多く付着してしまいます。  
定期的な清掃メンテナンスをすることで  
発電量を維持しております。





# マテリアルバランス



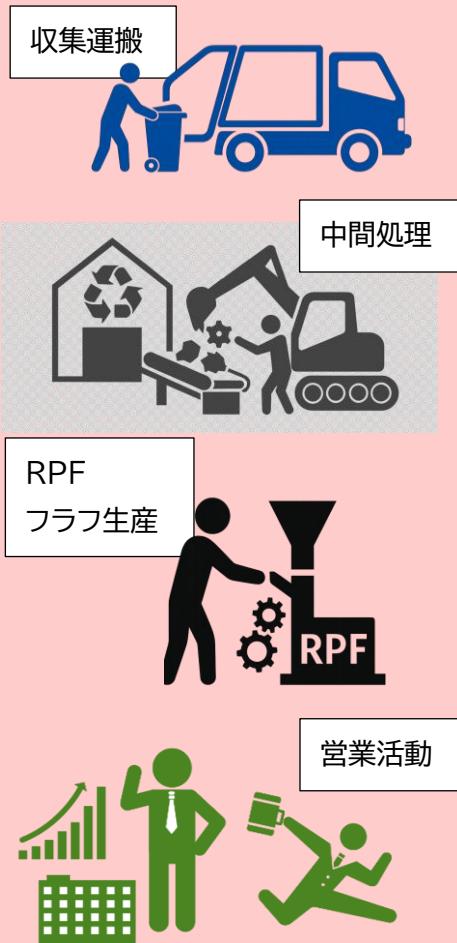
マテリアルバランスとは、事業活動全体における物質やエネルギー等の投入量(INPUT)、製品の生産量と環境負荷物質の排出量(OUTPUT)を把握する考え方により、事業活動による成果と環境負荷の全体像を示すものです。生産量が高まると必然的に廃棄量は増えてしまいます。

西部サービスグループはエコアクション21の取り組みを通じて地球環境を守りながら事業活動を行っています。

## INPUT

	電気	前年対比 108.4% ↗
西部サービス株	2,357,763 kWh	
(有)アルファフォルム	6,271,658 kWh	
	LPG	前年対比 97.5% ↘
西部サービス株	177.2 m³	
(有)アルファフォルム	167.1 m³	
	軽油	前年対比 103.6% ↗
西部サービス株	276,441 ℥	
(有)アルファフォルム	134,755 ℥	
	ガソリン	前年対比 93.4% ↘
西部サービス株	10,705 ℥	
(有)アルファフォルム	0 ℥	
	水道	前年対比 126.6% ↗
西部サービス株	1,112 m³	
(有)アルファフォルム	6,431 m³	

## 事業活動



## OUTPUT

	電気	741,098 kg-Co2
西部サービス株	(有)アルファフォルム	1,733,031 kg-Co2
	LPG	1,150 kg-Co2
西部サービス株	(有)アルファフォルム	1,179 kg-Co2
	軽油	702,362 kg-Co2
西部サービス株	(有)アルファフォルム	322,730 kg-Co2
	ガソリン	257,082 kg-CO2
西部サービス株	(有)アルファフォルム	0 kg-CO2
	一般廃棄物	592 kg
西部サービス株	(有)アルファフォルム	798 kg

2024年度は2023年度に比べ、エネルギーの使用量は増加しました。  
そのかわり、両工場ともにリサイクル燃料の大幅増産という結果となりました。

### フラフ燃料

28,308t(前年対比 110%)

### RPF燃料

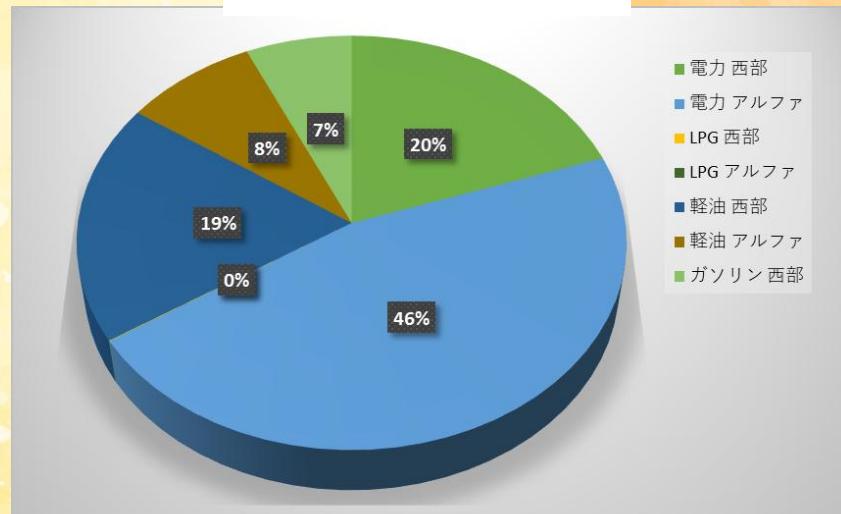
27,699t(前年対比 113%)

「これらの燃料が石炭代替として広まればそれだけCO2の削減に貢献できる」という強い意思をもって業務を遂行していきます！

### «OUT PUT»

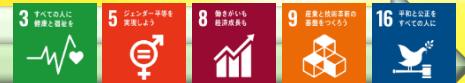
#### CO2 排出量内訳

合計 3,760,022kg-CO2





# ワークライフバランスの取り組み



ワークライフバランスとは「仕事と生活の調和」を目指すことを意味します。仕事とプライベートの両者を充実させて生産性を高め、企業利益を生み出す好循環を生むような仕組み作りを西部サービスグループでは心掛け、下記のような取り組みを行っております。

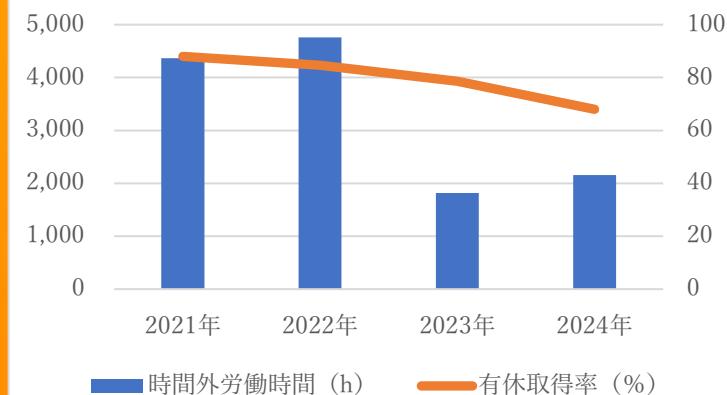


制度名	制度の内容	2024年度 利用者数・率
産前産後休業制度	出産前および出産後において一定の期間での休業が可能。	4名
育児休業制度	育児に専念するため、子が1歳6か月に達するまで休業が可能。	4名
介護休業制度	介護を必要とする家族のために一定期間休業をすることが可能。	0名
短時間勤務制度	3歳に満たない子を養育する社員または家族を介護する社員は、所定労働時間の一部を短縮した勤務が可能。	4名
資格支援制度	一定の年月就業した従業員に対し重機免許やその他資格の支援を行っている。	12名
業務改善提案制度	業務の効率化を目指し、誰でも改善提案できる制度。 改善提案のポイントは実際に改善業務を行っているか。 表彰制度あり。	0名
福利厚生(リロクラブ)	いつでも利用可能な福利厚生クーポン。 年に1度カタログギフトももらえる。	全従業員
誕生日休暇制度	自分自身の誕生日、または記念日に有給休暇とは別に1日お休みがもらえる制度。	89.8%
水素水の導入	社員の健康を考え、水素水を導入。 使用済みカートリッジはもちろんリサイクルへ。 夏場は水素水でポカリスエットを作り、熱中症対策に力をいれています。	全従業員

所定外労働時間と売上高推移



所定外労働時間と有給取得率



年間休日  
増加中!!



2024年度の年間休日は113日となり前期から16日の大幅増となりました。その影響もあったのか、有給取得率は68%と比べ落ち込んでしまいました。

2026年度からは年間休日は123日になるので有給取得率に影響が出るかもしれません、所定外労働時間は前期からほぼ変わらず、売上は伸ばす事ができているので業務の効率は上っていると捉える事ができます。今後、一層の業務効率化が有給取得率アップのポイントになってくると予測されます。



## GOMI 拾い合戦 in 明石公園

兵庫県産業資源循環協会が主催した「GOMI 拾い合戦」が明石公園で開催されました。ゴミを拾った量で点数を競い合うという楽しさもプラスされたイベントです！

弊社からも3名参加しました。取引先の収運業者や処分業者さん、ご家族から多くの参加があり総勢で200名ほどになりました。毎年参加人数が増えて大盛り上がりのイベントです。

小一時間程度拾ってから可燃・不燃などのゴミを分別して部門ごとに表彰が行われました。

開催が11月16日だったので11位と16位のチームには特別賞があったりも！少々雨に降られましたがイベントは順調に進んで無事に終了。また参加させていただきます！



## 企業見学 From インドネシア



親会社である阪和興業（株）よりインドネシアの企業の方々が、弊社神戸工場のリサイクル燃料や産業廃棄物のリサイクルプラントの見学に来られました。

日本ではすでに一般的になっている RPF やフラフ燃料といった廃棄物由来のリサイクル燃料ですが、海外では日本ほど普及しておらず、エネルギー資源の確保と脱炭素への取組みが世界共通のテーマになっている現在、世界でも非常に注目度の高い環境事業となっています。

私達のリサイクル燃料製造事業が世界へ普及し、持続可能な社会への一助になれば幸いです。この度は遠い国から弊社工場へお越し頂き、本当にありがとうございました。

## 兵庫・大阪各府県でSDGs宣言

兵庫県では SDGs の推進を促すために「ひょうご産業 SDGs 推進宣言事業・認定事業」を実施しております。西部サービスは主力事業であるリサイクル燃料の製造で宣言企業に認定を受けました。

各県にも同様の認定事業はありますが、実は兵庫県が宣言企業数ではトップなのです！（2024年8月時点で3289社）また大阪府ではアルファフォルムとしてSDGs宣言を行い、大阪府のHPにその内容が明記されております。

弊社はこれからもリサイクル燃料を使用してもらうことでCO<sub>2</sub>排出量を抑え、気候変動対策に取り組んでまいります！

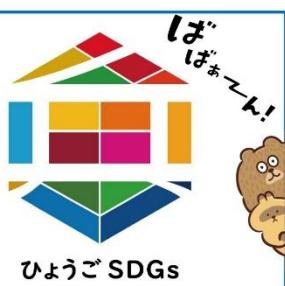
有限会社アルファフォルム  
(西部サービスグループ)

産業廃棄物を原料にリサイクル燃料を生産している中間処理業者です。私たちは化石燃料の代替となるリサイクル燃料（RPF）を増産し、二酸化炭素の発生量を削減します。また廃棄物から最大限再利用できるものを選別し、埋立処分を極力減らすことで持続可能な社会を目指します。

SDGsに関するHPはこちら



大阪府の HP はココから  
見てね！



ひょうご産業SDGs推進宣言事業  
登録証

西部サービス株式会社様

貴社を「ひょうご産業SDGs推進宣言企業」として登録します。

これからもっと環境のこと  
考えていきます！

2025年1月20日

No. 03842

公益財団法人  
ひょうご産業活性化センター



# 火災監視 SAVE システムの技術提供

8 駆きがいも  
経済成長も11 田舎で暮らす  
まちづくり12 つくる責任  
つかう責任16 平和と公正を  
すべての人々に17 バイオマスで  
自然を育成しよう

昨年度から本格的に事業展開している火災監視 SAVE システム。

センサーで火元を発見し初期消火まで行うこのシステムですが、おかげさまで同業者の方々から多くのお引き合いをいただいております。

リチウムイオン電池を起因とした工場火災は年々増加傾向で、他人事ではないという皆さんの高い意識をとても感じさせられます。

## 火災監視SAVEシステム

### 西部サービス神戸工場内 設置概略図

#### 【概要】

監視場所に応じて熱画像センサー、炎センサーを設置。

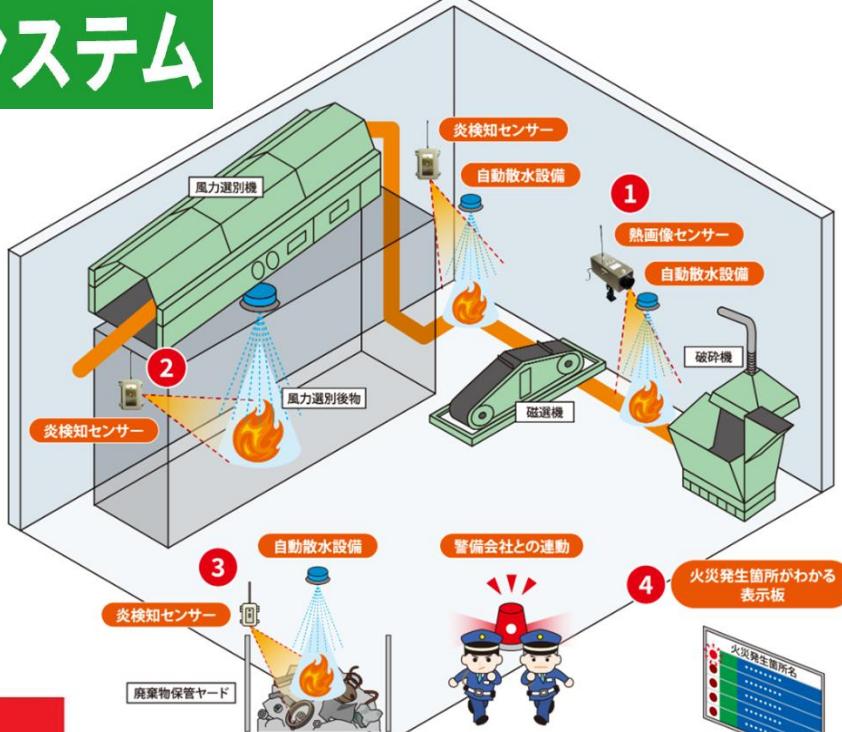
熱や炎を感じると

①パトライト、ブザー発報

②火災発生場所の明示

③自動消火

を同時に使う。



各設備位置に応じて監視システムの設置個所は柔軟に変更可能。

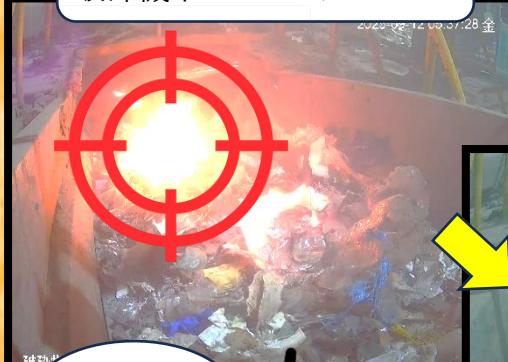
システム導入前は手動で設備の停止をし、消火活動を行った上で発火原因物の検索をしなければなりませんでした。

一連の作業が終えるまで30分程度かかり、発火は処理の稼働率低下も招き、何より作業員が本来の業務に集中できませんでした。

導入後は自動消火までシステムが対応するので、すぐに設備を再稼働でき、作業員も安心して本来の業務に集中できる環境が生まれました。



弊社工場で火災が多発する  
破碎機下のコンベア



業界内工場火災ゼロを目指し、西部サービスグループは今後も  
火災監視 SAVE システムの技術を広く提供してまいります！



# 安全への取り組み



## 緊急事態対応訓練

日頃から電子タバコなどのリチウムイオン電池による小火が月30回を超える両工場ですが、火災監視システムを導入したことでの大きな火災事故にはいたっていません。

日々の火災対応はもちろんですが、工場の中で起こりうる様々な緊急事態に対応できるように、年に2回緊急事態対応訓練を両工場で行っています。それぞれの工場で必要だと思う訓練内容を上長同士で相談し、訓練にあたりました。訓練時は不慣れで対応に時間がかかるような事案でも、様々な緊急事態を想定して日々訓練を行うことで瞬時に対応できる判断力を養っています。

### 【神戸工場】

- ・火元発見もライン停止が遅れたため、別箇所に延焼してしまう状況での消火訓練(2024.5.15)
- ・スプリンクラー発動させた消火訓練。初期消火失敗を想定した避難訓練(2024.11.27)



### 【南港工場】

- ・新設したヤードから出火した想定の消火訓練(2024.5.29)
- ・スプリンクラーを発動させた消火訓練。初期消火失敗を想定した通報・避難訓練(2023.11.6)



# 安全パトロール



月に1回、従業員の安全を守る為に工場内に危険な場所はないか、安全衛生委員と管理職で各工場内の安全パトロールを実施しています。普段から工場内にいると気づかない危険箇所や劣化による修繕箇所などを指摘し次回実施日までに改善することで工場の安全稼働につなげています。



排煙窓のワイヤーに引っかかり転倒するリスクがある！



進路にあるロープを隠し注意喚起の看板で啓蒙！



棚周りが整理されておらず備品がどこにあるか分からない！



要らない物は廃棄、定位置管理で備品を探す手間を省き効率的に！



後日、危険箇所は改善できたかを「before」「after」を並べて表示。  
誰が見ても一目でわかりやすく管理しています。





## 熱中症と安全対策の取り組み



### 熱中症や労働災害を未然に防ぐ見守りシステムの導入

地球温暖化に伴い、年々対応が難しくなってきている「熱中症対策」。西部サービスグループの工場も例外ではありません。同じ労働環境でも、その人の体調や、その日のWBGTの影響で大きく変わります。西部サービスグループでは、2024年6月の熱中症対策義務化に伴い、従業員の安全対策のためウェアラブル見守りシステム「デコブル」を導入しました。

安全第一／



【統合モジュール】  
加速度や暑さ指數  
を測るセンサー  
GPS付き。



### デコブルでできること



バイタルセンサー  
で体調変化を検知



加速度センサーで  
転倒・墜落を検知



ヘルプコールで  
緊急通知



GPSで居場所  
を通知

### 西部サービスグループの「デコブル」運用方法

・熱中症対策義務化により、熱中症に対する処置フローの策定義務がありますが、西部サービスグループでは、熱中症にならないための処置フローを独自に策定しました。「デコブル」のバイタルセンサーが「注意」を通知したら、水分補給や冷却対応。「危険」を通知したら、エアコンが聞いた部屋で最低10分休憩するなどの処置フローです。今年の夏も猛暑でしたが、客観的データに基づく事前対応が可能になったことにより、熱中症ゼロで乗り切ることができました！

### 運用して良かった点

体調が悪くて顔にでやすい人、出にくい人がいますし、頑張り屋さんな人ほど、しんどくても声に出さないケースもあります。客観的なデータで、声をかけて休憩にいってもらうことができるので不公平感もなく、事前対応ができるようになりました。また万が一の際はヘルプコール機能もありますので、安心して働くことができるのが本当に良かった点です。





## エコアクション21 オブザイヤー受賞歴

一般財団法人 持続性推進機構 様主催  
「エコアクション21 オブザイヤー2022」



エコアクション21  
オブザイヤー2022 優良賞 受賞



祝  
エコアクション21  
オブザイヤー2023 銅賞 受賞



エコアクション21  
オブザイヤー2024 銅賞 受賞



次は銀賞 受賞!?

to be continued



## 環境法令の遵守状況

COMPLIANCE

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無  
適用を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	評価	
		西部サービス	アルファフォルム
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物処理委託 等	○	○
消防法	自動火災報知設備・消火器の設置、少量危険物の指定数量	○	○
高圧ガス保安法	貯蔵・消費に関する技術上の基準	○	○
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任	○	○
計量法	定期検査の実施、登録番号を計量証明書への明記	○	○
自動車Nox・PM法	排ガス適合車両の使用	○	/
道路交通法	安全運転管理者の選任・届出、アルコールチェック	○	/
自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡	○	/
フロン排出抑制法	フロンを含む機器等の廃棄、業務用エアコン等の年間点検等	○	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の廃棄時	○	○
浄化槽法	保守点検、清掃	○	/
大気汚染防止法	一般粉塵施設の設置、変更、廃止	○	○
省エネ法	エネルギーの使用量	○	○
下水道法	油水分離槽の清掃	○	○
顧客要求事項	RPF製品の塩素数値基準	○	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。



# 西部サービスグループ 環境活動のあゆみ



2021年5月

災害用  
自動販売機設置



2021年10月

SNSで情報発信



2022年1月

エコアクション21  
オブザイナー  
優良賞受賞



2022年3月

「ひょうご仕事と  
生活の調和推進企業」  
認定



2023年1月

CO<sub>2</sub>排出量  
Scope1、Scope2  
情報開示スタート



2023年4月

CO<sub>2</sub>排出量  
Scope3  
情報開示スタート

2024年1月

エコアクション21 オブザイナー  
銅賞受賞



2025年1月

エコアクション21 オブザイナー  
二年連続 銅賞受賞



2025年3月

リサイクル率、カーボンフットプリント  
アボイディッドエミッഷン(CO<sub>2</sub>削減貢献量)  
HPにて公開



RPFとフラフ燃料の  
カーボンフットプリント



リサイクル率  
2025年7月  
西部サービス 93% アルファフォーム 83%

部門別実績比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
合計平均	93%	92%	64%	32%	93%	100%	93%	93%	93%	93%	93%	93%	93%
燃費・燃費割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
新規活動実績・既存活動	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
既存活動	93%	77%	33%	33%									33%

4,302 t-CO<sub>2</sub>

お客様のおかげで削減に貢献できた今月のCO<sub>2</sub>排出量

「杉の木」が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>量で計算すると

307,285分のCO<sub>2</sub>削減効果

「杉の木」の植樹面積に置き換えると

114個分のCO<sub>2</sub>削減効果

to be continued





## 課題とチャンス

	事業者の内部に起因するもの	事業者の外部に起因するもの
経営における課題 (事業場の弱み、問題点等) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員の高齢化、人材育成</li> <li>・設備の維持管理</li> <li>・若手人材の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料生産UPに伴う電気代のコストアップ</li> <li>・RPFとフラフ燃料のニーズの高まりによる廃プラの取り合い</li> </ul>
経営におけるチャンス (事業場の強み、有利な点等) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集運搬と処理までのワンストップサービス(グループ全体による)</li> <li>・選別設備導入による処理能力・燃料生産UP</li> <li>・取引先様が多い</li> <li>・働き方改革による職場環境の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2050年カーボンニュートラルの長期目標によるRPF、フラフ燃料のニーズ</li> <li>・国の廃プラ資源循環戦略のニーズ</li> <li>・SDGs、優良事業者認定による差別化</li> </ul>



## 代表者による見直しと指示

西部サービスグループ(西部サービス株式会社、有限会社アルファフォルム共通)

<情 報>		<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化		◇環境経営方針
西部サービス(株)	(有)アルファフォルム	西部サービス(株) (有)アルファフォルム 見直しはありません。
・脱石炭におけるRPF、フラフ燃料の需要増。 ・CO2見える化、イニシアチブ等脱炭素への社会的需要。		
◇環境経営目標・計画の達成状況		◇環境経営目標・環境経営計画
西部サービス(株)	(有)アルファフォルム	西部サービス(株) (有)アルファフォルム 見直しはありません。
【未達成項目】 ・燃料による二酸化炭素の削減、受託廃棄物のリサイクル率向上の2項目が未達成。	【未達成項目】 ・電力による二酸化炭素の削減、燃料による二酸化炭素の削減、一般廃棄物の削減、水使用量の削減、の4項目が未達成。	
◇その他		◇実施体制他
西部サービス(株)	(有)アルファフォルム	西部サービス(株) (有)アルファフォルム 見直しはありません。
・特になし		

世界は変わらず脱炭素・カーボンニュートラルへ移行が大きな命題となっており、CO2を削減することが企業価値を高める動きも出てきております。その影響下、当社が主力製品として製造しているRPF・フラフ燃料は化石燃料の代替として非常に需要が高まっています。昨年度アルファフォルムに導入した最先端の光学選別機を導入で、混合廃棄物からも良質な原料を選別することに成功し、RPF生産量は前年対比113%と大幅な増産となりました。一方で(有)アルファフォルムの環境経営目標は4項目で未達成となり、増産に伴うエネルギー使用量の増加が大きな要因です。近く大きな設備投資もありますので、より効率的な処理生産体制を構築した上で「受入量の増加=原単位である売上の増加」を目指し、次年度の目標達成に繋げます。また西部サービスも設備改修、安定稼働という地道な努力で大きな設備トラブルもなく、フラフ燃料生産量は前年対比110%という結果を打ち出しました。引き続き増産を行うことで化石燃料の消費を抑え、CO2抑制の一端を担えるよう企業活動に邁進していきます。

西部サービス(株) 代表取締役:片境 邦喜  
(有)アルファフォルム 代表取締役:江波戸 秀彦



## KOBE Plant



## NANKO Plant



カーボンニュートラル達成とサステイナブルな社会のために。

*Achieving carbon neutrality and creating a sustainable society*

# One step



SEIBU SERVICE GROUP

 西部サービス株式会社 /  有限会社 アルファフォルム  
阪和興業グループ